名古屋市科学館

要覧

平成25年度

は　じ　め　に

平成２４年１１月に、名古屋市科学館は開館５０周年を迎えました。

当館は、市政７０周年記念事業として昭和３７年１１月に白川公園に誕生しました。

その後、昭和３９年１１月に理工館、平成元年４月に生命館がそれぞれ開館し、わが国有数の総合科学館として、５０年間で約２，８４０万人もの皆様に利用をいただきました。平成２３年３月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムドーム「Brother Earth（ブラザー アース）」を始めとした、名古屋市が国内さらには世界に誇るべき様々な展示を備えた新館をオープンしました。新館開館後の来館者は、平成２５年５月には早くも３００万人を達成しており、市民の皆様を始め、多くの方々からの期待と応援に科学館が支えられていることを、改めて実感しております。

平成２４年７月には、新たな取り組みとして、全国の科学館としては初めて独立行政法人宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）と宇宙航空分野に関する普及啓発についての連携協定を締結いたしました。わが国の最先端をリードする研究機関と連携を深め、第一線で活躍する人々との交流や最新の映像・データを紹介することなどにより、科学教育の普及により一層貢献してまいりたいと考えております。

また、当館と名古屋市美術館を中心とする白川公園一帯を「芸術と科学の杜」として位置付け、地元町内会・商店街及び周辺施設と連携しながら、地域のイメージアップやまちづくりを行う「『芸術と科学の杜』連携推進会議」を立ち上げました。シンボルマークの募集や地域のマップづくり、商店街等の出店イベント等を地元の方々と行うことで、地域の賑わい創出に貢献しました。

平成２５年３月には、ノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏を名誉館長に迎えました。科学館や科学の魅力をアピールしていただくことで、科学者を目指す人材の育成に寄与する施設を目指してまいります。

これからも名古屋市科学館は、子どもから大人まで幅広い年代のお客様が科学への興味をもつきっかけを提供していくことが大切な役割であると考えています。今後とも、市民の皆様に一層愛されかつ魅力のある事業を目指して努力してまいりますので、科学館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月

名古屋市科学館
館長　石丸典生

科学館の基本理念

1　科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
2　人間と科学技術との関わりを考えていただく。
3　社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
4　市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター

「愛称＝アサラ」
　アストロ　(ASTRO)　　宇宙
　サイエンス(SCIENCE)　科学
　ラ イ フ　(LIFE)　　生命
の頭文字を取って付けた愛称です。

＊　制作意図
　形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。
　見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。
　青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木　勝さん

科学館シンボルマーク

＊　イメージ
　無限に広がる宇宙の片隅に存在する青い惑星－地球
　そこには、生命・物質・エネルギーさまざまなものが自然のうちに調和している。
　人間は英知(科学とその技術)を持った生命として、この地球に生まれてきた。
　人間は、自然のバランスをそこなわず、英知をもって幸福に暮らしていかなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目　　次

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

1　沿　　革 ･････････････････････････1
2　組　　織 ･････････････････････････3
(1) 組織及び職員構成 ･････････････････3
(2) 諮問機関 ･････････････････････････4
3　施設概要 ･････････････････････････5
(1) 理工館・天文館改築の背景と経緯 ･･5
(2) 改築整備の基本方針 ･･････････････5
(3) 改築整備の目標 ･･････････････････6
(4) 改築整備の特徴 ･･････････････････6
(5) 各館の概要 ･･････････････････････6
(6) 建築概要 ･････････････････････････7
(7) ネーミングライツの導入 ･･････････7
(8) 施設・設備概要 ･･････････････････8
(9)外構等整備概要 ･･････････････････9

平成24年度事業の概要

1　展示事業 ･････････････････････････10
(1) 常設展示 ･････････････････････････10
(2) 大型展示 ･････････････････････････10
(3) 各種実演ショー ･･････････････････11
(4) スペシャル実演 ･･････････････････12
(5) サイエンストーク ･････････････････12
(6) 話題の科学 ･･････････････････････12
2　特別展及び企画展 ･････････････････13
(1) 新館開館1周年記念　特別展「ＯＣＥＡＮ！海はモンスターでいっぱい」･････････････････････････13
(2) 特別展「空飛ぶのりもの」･････････14
(3) 企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」･････････････････････････････15
(4) 特別展「ドラえもんの科学みらい展」･････････････････････････････16
3　プラネタリウム投影 ･･････････････17
(1) 一般 ･････････････････････････････17
(2)ファミリーアワー ･････････････････17
(3) 学習・幼児投影（学校等団体向け）17
(4) 特別投影･････････････････････････ 18
4　教育普及事業･････････････････････ 19
(1) 天文分野･････････････････････････ 19
(2) 理工分野･････････････････････････ 19
(3) 生命環境分野･････････････････････ 22
(4)講演会・セミナー及び映画等･･････24
(5) フェスティバル及びイベント･････ 26
(6) 連携事業･････････････････････････ 26
(7) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業･････････ 27
(8) ボランティアの養成及び活用･････ 29
(9) 科学館友の会･････････････････････ 31
(10) 名古屋少年少女発明クラブ･･････ 32
(11)コンクール事業･･････････････････ 35
(12)博物館実習生の受入れ･････････････ 35
(13)職場体験・職業調べ･･･････････････ 36
(14)そ の 他･････････････････････････ 36
5　調査研究･････････････････････････ 37
6　印刷物の発行･････････････････････ 38
7　広報活動･････････････････････････ 38
8　他施設との交流･･･････････････････ 39
(1) 国内活動･････････････････････････ 39
(2) 国際活動･････････････････････････ 39
(3) 視察受入れ･･･････････････････････ 39
(4)芸術と科学の杜･･･････････････････ 39
(5)研究機関等との相互協定･････････････ 40
9 高校生学力向上促進事業 ･･････････ 40
(1) 電気自動車プロジェクト ･････････ 40
(2) 飛行機プロジェクト ･････････････ 40
10 名古屋市科学館50周年記念事業･････ 40
(1) 名古屋市科学館50周年記念式典･･ 40
(2) 記念コンサート
喜多郎 in Brother Earth ･･････････ 41
(3) 名古屋音楽大学学生による記念コンサート･････････････････････ 41
(4) 科学館の思い出の展示品の販売･･･ 41
(5) Brother Earth　星と光と環境の夕べ･････････････････････････････ 41
11 その他 ･･････････････････････････ 41

(1) Brother Earth ２周年記念イベント
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
(2) 長野県木曽清峰高校木製玩具寄贈・・42
12 研究講座等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
(1)「全国小学校理科研究大会愛知大会」への協力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
(2) 稲沢東高校サイエンスパートナーシッププロジェクト（ＳＳＰ） ・・・41
(3) 向陽高校スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳP） ・・・・・・・・・・・・・42
(4) 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会 ・・・・・・・・・・・・・・42
(5) 愛知県理科教育研究会　高等学校部研究大会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
(6) 名古屋市教育委員会と科学館ボランティアの懇談会 ・・・・・・・・・・・・・・・42
(7) 愛知県高等学校文化連盟自然科学専門部　研究発表大会 ・・・42
13　館外実施事業の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・42
14　情報収集保存活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
(1) 情報資料室 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
(2) インターネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
15　入館者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
(1)月別利用状況(個人・団体別) ・・・・・・44
(2)入館者月別利用状況（利用種別） ・・44
(3)団体地域別入館者数 ・・・・・・・・・・・・・・45

参 考 資 料

１　年度別入館者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
２　常設展示品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
３　年度別決算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
４　展示協力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
５　特別展及び企画展 ・・・・・・・・・・・・・・・・・59
６　観覧料の変遷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
利　用　案　内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
名古屋市科学館条例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
名古屋市科学館条例施行規則 ・・・・・・・・・・・69

施　設　の　概　要

1 沿　革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年４月に生命館が開館し、綜合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9.25　科学館建設調査委員会初会合
35.12.16　第１期工事(天文館)建設着工
36. 1.11　起工式挙行
36.11. 1　科学館開設準備室設置
37. 8.10　市立名古屋科学館条例公布・施行
37.10.31　第１期工事(天文館)完工
37.11. 1　開館式挙行
37.11. 3　天文館一般公開
38. 6.29　第２期工事(理工館)建設着工
39.10.30　第２期工事(理工館)完工
39.11. 1　理工館一般公開
40. 9.29　上原科学技術庁長官視察
42. 4. 1　博物館相当施設に指定
47. 4. 1　総務局から市民局へ移管
47.11. 1　開館 10 周年記念式典挙行
50.10.11　アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携
53.8.20～24　国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催
55. 4. 1　市民局から教育委員会へ移管
56.11.21　西館建設調査委員会初会合
57.11. 1　開館 20 周年記念事業開催
60. 1.20　入館者 1,000 万人達成
60. 3.20　65 ㎝反射望遠鏡設置
61. 9. 3　生命館建設着工
63.11.30　生命館完工
63.12. 2　シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定
平成 元. 4.28　生命館開館記念式典挙行
元. 4.29「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更
生命館一般公開
名古屋市科学館協議会設置
元. 6.14　三笠宮崇仁殿下ご視察
元. 7.25　高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察
2. 1.22　博物館登録
3. 4. 7　皇太子徳仁親王殿下ご視察
4.11. 1　開館 30 周年記念式典挙行
5. 7.24　入館者 1,500 万人達成
6. 3.24　受変電設備火災事故発生
翌日(3.25)から休館
6. 7. 1　火災事故復旧工事完了・開館
9. 7.29　文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託
9. 8. 2　高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察
10.10.22　科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託
11. 5. 7　秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察
12.3.14～16　アジア太平洋地域科学館協会総会等開催
12.11.11　入館者 2,000 万人達成
14. 4. 1　発明発見創造クラブ設立(～19.3.31)
14.10.25　文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
14.11. 1　開館 40 周年記念事業(特別展・講演会等)開催
15. 3.27　フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
15.12. 1　開館 40 周年記念誌刊行
16.12.23～25　ロボットサッカー国際交流会開催
17. 3. 2　「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
17. 7.25～29　万博ロボットサッカー国際交流会開催
18. 1.25　「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
19. 2. 7　「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
20.10. 1　理工館・天文館改築工事着工
21. 5.16　入館者 2,500 万人達成
22. 9. 1～　理工館・天文館改築に伴う休館
22.10.11～31　生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
23. 3.19　理工館・天文館一般公開
23. 4. 1　国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
23.10. 4　新館入館者 100 万人達成
23.11. 6　新館グランドオープン記念式典挙行
23.12.12　世界最大のプラネタリウム「Broth Earth」がギネス世界記録に認定
24. 3.19　新館開館１周年記念式典挙行
24. 3.19　名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
24. 5. 1　名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
24. 7.16　新館入館者 200 万人達成
24. 7.18　（独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）と相互協力に関する協定を結ぶ
24. 8.10　「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
24.11. 3　名古屋市科学館 50 周年記念式典挙行
25. 3.26　名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
25. 3.26　名誉館長に益川敏英氏（ノーベル物理学賞）就任

歴 代 館 長

（敬称略）

館　　長　　名		期　　間
初　　代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸　清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久垣 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田　博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田　大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田　大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～

名誉館長	益川　敏英	平成 25 年 3 月 26 日～

2　組 織

(1)組織及び職員構成

（平成25年4月1日現在）

凡例：（　）内は、職員数
○数字は嘱託員数（内数）

館　長　石　丸　典　生

副館長　森　下　哲　也

総　務　課　(14①)
課長　山　中　隆　弘

庶　務　係　(12①)
係長　加　藤　良　樹

1 人事、文書、公印及び予算決算の事務手続

2 使用料等(観覧料を除く。)の徴収、契約及び会計事務

3 物品の購入及び検収

4 科学館協議会の庶務

5 施設及び設備の維持管理並びに館内の秩序維持

6　観覧券の発売及び改札等

7　広報、宣伝及び催物の実施

8　入館者への案内、説明その他のサービス

9 他の課の主管に属しないこと

主　査（経　営）
森　田　雅　美

1　観覧券の発売及び改札等並びにこれに伴う会計事務

2　広報、宣伝及び催物の実施

3　入館者への案内、説明その他のサービス

学　芸　課　(39⑳)
課長　杉　浦　金　之

学　芸　係　(30⑳)
係長　鈴　木　雅　夫

1 科学に関する展示品（他の係の主管に属するものを除く。）に係る企画及び展示その他の供用

2 科学知識（他の係の主管に属するものを除く。）の普及及び指導

3 科学技術に関する情報（他の係の主管に属するものを除く。）の収集及び提供並びに出版

4　展示室（他の係の主管に属するものを除く。）の運営に関すること

5 サイエンスホール及び情報資料室の運営

6 その他学芸事務（他の係の主管に属するものを除く。）

主　査（普　及）
梶　田　富　子

1　科学知識の普及及び指導

2　展示室の運営

天　文　係　(6)
係長　野　田　学

1 プラネタリウムに係る企画及び運営

2 天文に関する展示品に係る企画及び展示その他の供用

3 天文に関する知識の普及及び指導

4 天文に関する情報の収集及び提供並びに出版

5　天文に関する展示室の運営

主　査（天　文）
毛　利　勝　廣

1　プラネタリウム及び天文に関する展示品に係る企画

2　天文に関する情報の収集及び提供

〔職種別職員構成〕

職種 / 職名	行政職（事務）	行政職（技術）	社会教育主事	学芸職	非常勤特別職	嘱託員	計
館長					1		1
副館長	1						1
総務課	11	2				1	14
学芸課	1	1	2	15		20	39
計	13	3	2	15	1	21	55

（２） 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は 15 人以内で、任期は 2 年とされている。

（敬称略）

氏　名	役　職　名	氏　名	役　職　名
今　川　郁　子	名古屋市立大宝小学校長	直　江　知　樹	国立病院機構名古屋医療センター院長
加　藤　雄　司	名古屋市立菊里高等学校長	東　村　博　子	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授
加　藤　智　子	名古屋市立植田幼稚園長	纐　纈　　満	日本ガイシ株式会社顧問
大　谷　　恩	愛知県私学協会副会長	内　藤　弘　康	名古屋商工会議所常議員
青　山　淑　子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	山　口　宏　昭	中日新聞名古屋本社事業局長
平　井　知　子	名古屋市立小中学校 ＰＴＡ協議会理事	吉　川　幸　司	日本放送協会名古屋放送局長
村　田　　実	―　（公募）	神　崎　修　三	公益財団法人中部科学技術 センター専務理事
小　林　身　哉	金城学院大学教授		

〔平成 25 年 7 月 21 日現在〕

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置（科学館資料）に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が委嘱しており、定数は 16 人以内とされている。

（敬称略）

氏　名	役　職　名	氏　名	役　職　名
鈴　置　保　雄	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金　田　英　宏	名古屋大学大学院 理学研究科
沼　田　宗　敏	中京大学情報理工学部 機械情報工学科教授	吉　田　英　一	名古屋大学博物館長
高　橋　鉱　次	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	鈴　木　和　代	名古屋大学 医学部保健学科教授
天　野　　浩	名古屋大学大学院 工学研究科教授	川　上　紳　一	岐阜大学教育学部教授
成　瀬　　清	基礎生物学研究准教授	清　水　裕　彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授

〔平成 25 年 7 月 21 日現在〕

３　施 設 概 要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

（1）理工館・天文館改築の背景と経緯

◇　背　景

理工館・天文館は、建築後 50 年近くが経過し、建物の老朽化、バリアフリーの不備、耐震性の不足、天井が低い、床面の耐荷重性能が不十分などの課題を抱えているため、改築整備が必要となった。

◇　経　緯

平成 16・17 年度　名古屋市科学館理工館・天文館の改築基本構想
平成 18 年度　建物・展示・プラネタリウムに係る基本計画等
平成 19 年度　建物実施設計、展示基本設計、プラネタリウム実施設計
平成 20 年度　建物建築工事、展示実施設計及び製造、プラネタリウム製造
平成 21・22 年度　建物建築工事、展示製造、プラネタリウム製造
平成 23 年度　外構工事、屋外展示製造

（2）改築整備の基本方針

①　科学の面白さを感じることができる科学館

ダイナミックな体験が可能な大型展示と最新のプラネタリウムを整備するほか、生命館・理工館・天文館を一体化させ、共通の常設展示テーマを設定し、さらに関心度の高いテーマを取り上げた特別展・企画展を開催するなどして、科学への興味と関心を高める。

②　何度も行きたくなる科学館

参加体験型の多様な展示品や多彩な活動プログラムを用意するなど、常に新たな「疑問と発見」を感じることのできる場を提供するとともに、ミュージアムショップの商品の多様化など、利用者の満足度・充実度の向上を図る。

③　科学好きの子どもを育てる科学館

学校教育と連携して、子どもたちが科学についてより楽しく学べるように、学校では経験できない展示や実験・工房等の活動プログラムを充実させ、子どもの多様な知的探究心を満足させる。

④　地球環境時代の科学館

地球温暖化等の環境問題を多面的・総合的な視点で捉えた展示に取り組むとともに、建物・設備等においても、自然エネルギーの活用等環境に配慮し、科学館の活動や存在自体が、人間と環境の関係を考える契機となるものとする。

⑤　連携する科学館

市民ボランティアの育成を促進し、科学技術の普及啓発を充実するとともに、産業界・大学・学界や国内外の科学系博物館等との連携を深め、最新の科学技術を紹介・展示し、科学へのさらなる興味を抱かせる。

（３）改築整備の目標

世界一のプラネタリウムと魅力ある大型展示を備え、学習施設であると同時にエンターテイメント性豊かな観光施設ともなる、世界に誇れる科学館を整備し、年間入館者 100 万人を目指す。

（４）改築整備の特徴

＜建物＞

○　公園と周辺地域の連続性を確保するため建物内に大きな通路を配置
○　球体を強調した外観デザインでプラネタリウムドームのランドマーク化
○　建物自身が展示装置（構造の見える化）
　・　制震構造、エレベーター・エスカレーター構造
○　環境にやさしい建物
　・　大規模壁面緑化、屋上緑化
　・　太陽光発電、風力発電
　・　クールヒートトンネル、雨水貯留槽（1,000m^3以上）
○　天井を高くし、壁を少なくするなどフレキシブルな展示空間

＜展示＞

○　ダイナミックで迫力のある大型展示
　・　高さ 9mの人工竜巻
　・　巨大な放電体験装置
　・　マイナス 30℃の部屋で全天周オーロラ映像
　・　大規模で多彩な仕掛けの水の広場
○　親しみやすく五感に訴える参加体験型展示

＜プラネタリウム＞

○　世界最大のドームスクリーン（ドーム径 35m）に投影される限りなく本物に近い星空
○　高解像度の全天周動画による迫力ある映像
○　レーザー光線や霧の発生など、エンターテイメント性豊かな特殊演出
○　ゆとりのある快適な座席空間

（５）各館の概要

＜理工館＞

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、こどもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、 分野も科学・技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

＜天文館＞

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウム「Brother Earth（ブラザー アース）」がある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、 天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

＜生命館＞

2 階から 5 階までが常設展示室。6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下にサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「生活」及び「地球」の三つのグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

（6）建 築 概 要

区　分	各棟別	理工館・天文館	生　命　館
敷 地 面 積	約 89,300 ㎡白川公園全体（公園測量面積 89,297.99 ㎡）		
建 築 面 積	4,263.62 ㎡	3,063.80 ㎡	1,199.82 ㎡
延 床 面 積	22,551.32 ㎡	15,735.19 ㎡	6,816.13 ㎡
構　　造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上　　7 階	地上　　8 階
		地下　　2 階	地下　　2 階
常設展示室	10 室 6,515 ㎡	6 室 4,338 ㎡	4 室 2,177 ㎡
開　館　日		H23.3.19	H 元.4.29

（7）ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：Ｂｒｏｔｈｅｒ　Ｅａｒｔｈ（ブラザーアース）

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社

契約期間：平成 23 年 3 月 19 日から平成 28 年 3 月 31 日

（8）施設・設備概要

天　文　館	理　工　館	生　命　館	東　　館
プラネタリウム 「Brother Earth（ブラザー アース）」 【803 ㎡(350 席)】	天文台 【87 ㎡】	第 2 実験室 【120 ㎡(36 席)】	
プラネタリウム 制作室	7 階休憩室 【187 ㎡(96 席)】	学習室 【102 ㎡ (54 席)】	
サイエンスステージ 【173 ㎡(66 席)】	第 1 実験室 【115 ㎡(48 席)】	ボランティア 控室	
	3 階休憩室 【251 ㎡(84 席)】		レストラン 【157 ㎡(56 席)】
	情報資料室 【97 ㎡】	1 階休憩室 【385 ㎡(170 席)】	ミュージアム ショップ 【104 ㎡】
	イベントホール 【777 ㎡】	サイエンスホール 【440 ㎡(320 席)】	

□　35m プラネタリウムドーム「Brother Earth（ブラザー アース）」

統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）
光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））
デジタル式プラネタリウム（スカイマックス DS II-R2　SH-4K 6 台）
デジタルパノラマ（スカイマックス DS II-R2 パノラマ　SIM7Q 16 台）
補助投影システム（HD950 5 台）
音響システム（D-SICS）
補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）
効果照明システム（スカイペイント）
通路 LED
レーザーシステム（アウロラ）
座席（350 席、全席リクライニング、左右 30°回転）

□　プラネタリウム制作室（5m ドーム）
制作システム（SCD5）

□　天文台
80cm カセグレン式反射望遠鏡
（周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）

□　星のひろば
15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式

□　30cm 太陽望遠鏡(太陽投影像 194cm)
（周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cmHα像用屈折望遠鏡、分光器他）

（9）外構等整備概要

1　外構工事

（1）平成 22 年度完了分の主な整備
　　バス乗降場、エントランス広場～西側外構、駐輪場、生命館南側広場

（2）平成 23 年度実施分の主な整備
　　屋外展示広場、クールヒートトンネル、雨水貯留槽、身障者用駐車場、東側園路

2　屋外展示工事

（1）平成 22 年度完了分の主な整備
　　フランシス水車、無人探査機ドルフィン３Ｋ、ニュートンのりんごのき

（2）平成 23 年度実施分の主な整備
　　H-ⅡＢロケット、日本実験棟「きぼう」、Ｂ６型蒸気機関車、市電 1400 型ボギー車

3　配置図

平成 24 年度事業の概要

1　展示事業

（1）　常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展　示　室　名	展　示　内　容
天文	５階　宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	２階　不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	３階　技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	４階　科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	５階　物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	６階　最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	２階　地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	３階　生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	４階　人体のしくみ	複雑なメカニズムを持つ人体のしくみを探る展示
	５階　生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
屋　外		風力発電装置、海底無人探査機、フランシス水車 蒸気機関車、市電、Ｈ－ⅡＢロケット、きぼう

（2）　大型展示

館	大型展示	展　示　内　容
理工	2～3 階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4 階 竜巻ラボ	3 本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5 階 放電ラボ	2 基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5 階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

（３）各種実演ショー

実演場所		名　　称	実演・実験内容	平成 23 年度		平成 24 年度	
				回数（回）	参加者数（人）	回数（回）	参加者数（人）
理工館	2 階	水　の　広　場	水の循環と水の性質について知識を深める演出	来館者対象		来館者対象	
	3 階	都市パノラマ	名古屋を参考にした架空の都市パノラマにて、人、モノ、エネルギーなどの流れを中心に説明	1,125	43,675	986	30,225
		竜　巻　ラ　ボ	人工的に竜巻そっくりの空気の渦をつくり出すことができる実験装置で高さ約 9mの渦を観察	885	73,108	1,006	59,272
	4 階	放　電　ラ　ボ	放電現象がどのようなメカニズムで起きているのか、轟音をともなう激しい電気スパークを観察し理解する	1,255	76,343	1,681	101,530
	5 階	極　寒　ラ　ボ	マイナス３０℃の世界を体験しながらオーロラ映像を見たり、氷の実験や氷の結晶を観察	3,260	74,433	3,153	70,937
天文館	4 階	サイエンスステージ	・おば化な実験室 ・ふれ　ふれ　フレール ・まわる まわる まわる ・慣性で大歓声 ・みんなのくうき ・ハカセ対決 ～燃焼編～ ・うかしてとばして大実験 ・夏祭り屋台サイエンス ・ハカセとサンタのメリークリスマス	1,129	90,026	1,099	78,612
生命館	5 階	生　命　ラ　ボ	あれ！目のさっかく 煮干しのかいぼう かむかむパワーをくらべてみよう シロアリのふしぎな行動 ビタミンＣを調べてみよう こうぼのふしぎなビーズを作ろう ミドリムシってどんなムシ？ きみは細胞のかたまりダ！ 色がかわる！色でわかる！ あまーいバナナのひみつ タンポポのタネはいくつある？	284	9,956	404	6,270

（４）スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館５階 生命ラボ	「ミクロの探検隊」 ↓（６月より下記の名称に変更） 「のぞいてみよう！ミクロの世界」	毎土日 各日２回	165	2,632
	夏休みバージョン 「のぞいてみよう！ミクロの世界」	土日 7 月 21 日(土)～ 9 月 2 日(日)	13	474
	ウナギのひみつ 話題のかがく関連事業として	4/28(日) 7/24(火).25(水) 5/6(日)	3 6	80 160 100
	国際植物の記念行事「世界の研究者が使う植物、シロイヌナズナを観察しよう！」	5 月 19 日(土) 20 日(日)	2	200
	けんび鏡でかんさつしょう	平日 7 月 26 日(木)～ 8 月 31 日(金)	23	7 月 303 8 月 2,637
	花の模型を作ろう	10 月 11 日(木) 11 月 23 日(金・祝) 12 月 9 日(日)	各２回 6	108
遺伝子ミニラボ	雑種タンポポの遺伝子分析公開実験	2 月開始 土曜日不定期	3	観察者対象

（５）サイエンストーク（展示室の特別講座）

実演場所	事業名	開催期日	回数	参加者数(人)
理工館３階 創造のひろば	飛行機はコンピューターで設計する （株）シーアールイー	2 月 20 日（水）	4 回	約 100 人

（６）話題の科学（理工館６階　コーナー）

コーナー	テーマ	展示時期
右	ニホンウナギの卵発見	24 年 3 月～9 月
	星出彰彦宇宙飛行士宇宙長期滞在	9 月～10 月
	名古屋の宇宙開発／速報　山中伸弥教授ノーベル生理学医学賞受賞	10 月～11 月
	iPS 細胞とは～人工多能性幹細胞の研究～	11 月～25 年 3 月
	益川敏英名誉館長就任記念　小林・益川理論に近づいてみよう	3 月～
左	名古屋でおきる金環日食	24 年 3 月～5 月
	巨大地震発生現場を探る	5 月～11 月
	世界初！ヒト ES 細胞からの眼胚	11 月～25 年 3 月
	日本にも氷河があった	3 月～

２　特別展及び企画展

（１）新館開館１周年記念　特別展「ＯＣＥＡＮ！海はモンスターでいっぱい」

①開催趣旨　　40 億年の昔から生命を育んできた海は、豊かな進化の舞台である。海のさまざまな環境に適応した魅力あふれるモンスターたちの化石や剥製等の標本を展示し、6 億年もの太古から現在に至る海の生物の「かたち」を通して、生物多様性の歴史に迫り紹介した。

②開催期間　3 月 17 日（土）～6 月 10 日（日）　　開催日数 73 日

③入 場 者　105,732 名

③会　　場　理工館地下２階　イベントホール

④主　　催　名古屋市科学館、読売新聞社、名古屋テレビ放送

⑤後　　援　愛知・岐阜・三重各県教育委員会、愛知県公衆浴場業生活衛生同業組合

⑥協　　賛　ダイワボウ情報システム

⑦特別協力　林原自然科学博物館

⑧協　　力　名古屋大学博物館、岩国市立ミクロ生物館、大阪市立自然史博物館、海洋研究開発機構、笠岡市立カブトガニ博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、蒲郡市生命の海科学館、きしわだ自然資料館、京都大学総合博物館、珠洲市教育委員会、大地町立くじらの博物館、東京工業大学、どこでも博物館、栃木県立博物館、鳥取県立博物館、中川町エコミュージアムセンター、名古屋港水族館、日経ナショナルジオグラフィック社、沼田町化石館、ビーアンドエー・インターナショナル、福井県恐竜博物館、ふくしま海洋科学館、三重県立博物館、むかわ町立穂別博物館、早稲田大学、ＡＣＴＯＷ、Ｆｏｍｏｓｏｆｔ　Ｉｎｔｅｍａｔｉｏｎａｌ　Ｉｎｃ、サンデーフォークプロモーション

⑨入 場 料　大人　1,200 円　［前売券　1,000 円］
高校・大学生　700 円　［前売券　500 円］
小中学生　500 円　［前売券　300 円］

⑩展示内容　　クビナガリュウ「タラソメドン」の全身骨格（全長約 12m）、クジラの祖先「バシロウサウルス」の全身骨格（全長約 18m）、シーラカンスのプラスティネーション標本、その他 肉食の大型古代魚の化石等約 300 点を一堂に展示

⑪関連事業

内容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
ギャラリートーク 「海の生きもの」たんけん隊		4 月 14 日(土) 5 月 26 日(土) 6 月 10 日(土)	30 名 35 名 30 名
JAMSTEC Day in NAGOYA パネル展示 キッス実験＆工作		4 月 3 日(火)～8（日） 4 月 8 日(日)　5 回	352 名
アサリから学ぶ生命進化の謎	講師：名古屋大学博物館教授　大路　樹生	4 月 14 日(土)	25 名
OCEAN! ナイトミュージアム　in 名古屋		4 月 29 日（日）	17 名
ミニ展示「深海生物の化石展」	協力：東海化石研究会	5 月 8 日(火)～6 月 10 日(日)	

カンブリアのモンスター！？目からウロコ！なモンスターの話	協力：蒲郡市生命の科学館	5 月 27 日(日)　2 回	40 名
ミュージアムコンサート		5 月 26 日（木） 5 月 27 日（金）	144 名 170 名

【参考＝平成 23 年度の特別展】

①特別展名　**特別企画展「お化け屋敷で科学する！」**
②開催期間　4 月 23 日(土)～6 月 26 日(日)　開催日数 54 日
③会　　場　理工館地下２階　イベントホール
④主　　催　名古屋市科学館、中日新聞社、東海テレビ、フジテレビジョン
⑤入場者数　72,886 名

（２）特別展「空飛ぶのりもの」

①開催趣旨　ライト兄弟の人類初飛行にはじまり、航空技術がめまぐるしく発展した 20 世紀。空への憧れから生まれた飛行機は、私たちにとって今やなくてはならない存在です。特別展「空飛ぶのりもの」では、20 世紀最大の発明といわれる飛行機の歴史や飛ぶ仕組み、日本が誇る最新の航空技術など、飛行機の魅力を余すことなく紹介した。
②開催期間　7 月 21 日（土）～9 月 2 日（日）　開催日数 39 日間
③入 場 者　58,323 名
④会　　場　理工館地下２階　イベントホール
⑤主　　催　名古屋市科学館、中日新聞社、中部日本放送
⑥後　　援　愛知・岐阜・三重各県教育委員会　愛知県私学協会　愛知県子ども会連絡協議会　愛知県私立幼稚園連盟　近畿日本鉄道
⑦協　　賛　県民共済愛知県生活協同組合
⑧入 場 料　大人　1,200 円　［前売券　1,000 円］
高校・大学生　700 円　［前売券　500 円］
小中学生　500 円　［前売券　300 円］
⑨展示内容　１）ライトフライヤー号の原寸大模型
初めて動力付き飛行機で有人飛行を行った「ライトフライヤー号」を当時の図面と材料で忠実に再現した原寸大模型（翼長 12.3 m）を展示
２）最新型フライトシミュレーター（9 台）の体験コーナー
フライトシミュレーターを使って飛行機の操縦を疑似体験
３）市立工業高校製作の一人乗り小型飛行機
明治時代に作製されたスケッチ図を基に、科学館と市立工業高校の生徒共同で製作している一人乗り小型飛行機（翼長 9.8m）を 8 月 5 日（日）まで特別公開
⑩関連事業

内容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
空飛ぶのりものたんけん隊 三菱重工業飛島工場と中部国際空港の滑走路特別見学会（日帰りツアー）		7 月 31 日(火)	小 4 以上とその保護者 37 名

CAMP 発明ワークショップ 発明の瞬間を体験しょう！		7 月 28 日(土) 7 月 29 日(日)	小 4～中 3 11 名 18 名
パイロット・トークライブ	ANA グループ	8 月　4 日(土)　2 回	250 名

【参考＝平成 23 年度の特別展】

①特別展名　**新館開館記念特別展「黄河大恐竜展～中国・甘粛省大恐竜群の新発見～」**
②開催期間　７月 16 日(土)～８月 31 日(火)　開催日数 41 日
③会　　場　理工館地下２階　イベントホール
④主　　催　名古屋市科学館、中日新聞社、中部日本放送株式会社
⑤入場者数　157,822 名

（３）企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」

①開催趣旨　私たちのからだにとって、光の入り口である２つの「眼」は、光の明るさや色、ものの遠近を知るためになくてはならない大切な感覚器官である。また、眼は脳から作られる。複雑な構造が、他の組織の影響を受けることなく自律的に作られることを世界で初めてが明らかにした最近の研究も取りあげ、ヒトの眼のはたらきや、しくみ、その調べ方、眼のはたらきを助けまもる工夫などをさまざまな体験とともに紹介した。
②開催期間　11 月 17 日（土）～12 月 2 日（日）　開催日数 14 日
③入 場 者　6,266 名
④会　　場　理工館地下２階　イベントホール
⑤主　　催　名古屋市科学館
⑥協　　力　名古屋市東山動物園、名古屋市生活衛生センター、大谷順子(豊橋市自然史博物館教育ボランティア）、株式会社京都科学、Austin Roorda(UC Berkeley)、理化学研究所脳科学総合研究センター、名古屋市工業研究所、山田重人(京都大学先天異常標本解析センター）、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター、愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学専攻、キクチ眼鏡専門学校、奥村智人(大阪医科大学 LD センター)、有限会社理学館、株式会社トプコン、株式会社トプコンメディカルジャパン、名古屋市子ども青少年局、参天製薬株式会社、内藤記念くすり博物館、てらしま薬局、日本スポーツ振興センター、日本医用光学機器工業会 眼鏡部会、東海光学株式会社、日本コンタクトレンズ協会、株式会社メニコン、株式会社日本コンタクトレンズ、理科ねっとわーく、サイエンスチャンネル
⑦入 場 料　常設観覧料で観覧可能
⑧展示内容　１）ヒトの眼と動物の目　２）眼のしくみ
３）眼と脳はつながっている　４）眼はどのようにできるか
５）自分の眼を調べよう-体験　６）大切な眼をまもるもの
７）人により違う感じ方、見え方

⑨特別実演

ソフトコンタクトレンズにさわってみよう	協力：株式会社メニコン	14 日間（1 日 7 回）98 回	400 名

⑩関連事業

内容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
さかさメガネを体験してみよう	愛知淑徳大学教授 高橋　啓介	11 月 18 日(日)	小学 3 年以上 24 名

見やすい環境の工夫を知ろう	愛知淑徳大学准教授 川嶋　英嗣	12 月　2 日(日)	中学生以上 20 名
屈折検査をしてみよう	愛知淑徳大学教授 川瀬　芳克 愛知淑徳大学クリニック 若杉　恵子	11 月 18 日(日)　3 回 12 月　2 日(日)　3 回	小学４年以上 66 名 51 名
眼底写真を撮影してみよう	愛知淑徳大学准教授 田邊　宗子 愛知淑徳大学クリニック 渡辺　ひとみ	11 月 18 日(日)　3 回 12 月　2 日(日)　3 回	中学生以上 49 名 65 名

（４）特別展「ドラえもんの科学みらい展」

①開催趣旨　「ドラえもん」は、１９７０年の連載開始から４０年以上にわたって世代や国を超えて人々を魅了し続けています。その魅力の一つは、登場する数々の奇想天外で便利なひみつの道具にあります。本展では、「ドラえもん」に登場する様々なひみつの道具をテーマとして、現代の最先端の科学技術でどこまで実現されているのかを、体験型の展示を中心に紹介している。

②開催期間　3 月 16 日（土）～5 月 6 日（月・祝）　開催日数 44 日

③入 場 者　123,179 名

③会　　場　理工館地下２階　イベントホール

④主　　催　名古屋市科学館、名古屋テレビ放送

⑤特別協力　藤子プロ

⑥科学監修　日本科学未来館

⑦企画製作　ドラえもんの科学みらい展実行委員会
（小学館、テレビ朝日、シンエイ動画、ADK、Shopro、科学技術広報財団）

⑧入 場 料

大人	1,000 円	［前売券　800 円］
高校・大学生	700 円	［前売券　500 円］
小中学生	500 円	［前売券　300 円］

⑨展示内容

１）ドラえもんと暮らす未来
その場の状況に合わせて動き方を学習する強化学習ロボット､会話の内容や人それぞれの話し方に対応するロボットとの会話体験､介護ロボットをイメージした体験展示など、人とのコミュニケーションをテーマに、先端ロボット技術を紹介

２）空を自由に飛びたいな
「タケコプター」のように自由に空を飛ぶことを目指して開発された世界で一番小さいヘリコプター「ＧＥＮ　Ｈ－４」を紹介し、原寸大の模型に乗り込んでの記念撮影やシミュレーション映像での飛行体験にチャレンジ

３）変身したい
プログラムを選択するとモニターでの自分の顔がどんどん変わっていくシステムや、あたかも透けて見えるような「透明マント」で変身を体験

４）もっと気持ちが通じれば
食べると別の言葉を話すことができるひみつの道具「ほんやくコンニャク」のように､言語の違いを克服して会話することを目指して開発されている音声翻訳システムの先端研究の成果を紹介

⑩関連行事

内容	講師・主催・協力	実施日・実施回数	参加者数
ドラえもんのトークイベント	声優　水田わさび 大原めぐみ	3 月 2 日(土)	来館者対象

３　プラネタリウム投影

（１）一般投影

一般を対象として今夜の夜空の星の探し方から幅広い天文のテーマを、月替わりでわかりやすく解説する。１回の投影時間は約 50 分。

月	テ　ー　マ	投影回数	月	テ　ー　マ	投影回数
4	金環日食	145	10	となりの太陽系	106
5		123	11	～50 周年記念～思い出の星空	107
6	見えない光の天文学	108	12	冬至の太陽	101
7	七夕伝説	112	1	星のライフサイクル	99
8	宇宙をめざして（9/2 まで）	149	2	膨張する宇宙	100
9	月の素顔（9/8 から）	91	3	サザンクロス	122
【参考】平成 23 年度投影回数＝1,369 回			計		1,363

（２）ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラムです。今晩の星空から宇宙旅行までの楽しい内容です。

テーマ：星座めぐり・宇宙めぐり

◇　投影時間　　13:50～　　土・日曜・祝日・夏・冬・春休み

平成 24 年度投影回数＝127 回

平成 24 年度観覧者数＝43,815 人

（３）学習投影・幼児投影（学校等団体向け）

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内　　容	期　　間	投影回数	観覧者数（人）
幼児向け投影（幼稚園・保育園の年長児）	星座や星の物語などを補助投影機を活用しながら構成し、幼児が楽しみながら星の学習ができるように解説する	5/8-7/19（40 日間）	69	21,298（494 園）
		2/26-3/13（10 日間）	12	3,680（58 園）
小　学　校 ４年生向け	「冬の星空と太陽・月・星の動き」冬の星座を探したり、星や太陽、月が時間とともに動いていく様子を観察する	11/20～2/19（35 日間）	61	18,990（261 校）
小　学　校 ６年生向け	「地球から宇宙へ」宇宙の仕組みについて解説し、広大な宇宙の姿にふれるとともに、宇宙の中の人間について解説	9/25～11/15（29 日間）	54	16,866（223 校）

【参考】 平成 23 年度

事　業　名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	92	24,601 (535 園)
小　学　校 ４年生向け	67	19,423 (258 校)
小　学　校 ６年生向け	52	16,772 (219 校)

（４）特別投影

テーマについてじっくり解説する大人向けの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕で投影する投影。

事　業　名	内　　容	期　日	参加者数(人)	対　象	平成 23 年度 参加者数(人)
夜 間 投 影	18 時半からの大人むけプログラムです。一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加え投影	4/21.5/11.6/22. 7/7.8/10.9/29. 10/20.11/9.12/24 1/11.2/16.3/8	3,568	一　般	4,360
字幕付き プラネタリウム	一般のプラネタリウム番組に字幕を付けて投影	9/22.3/23	634	一　般 (聴覚障害者を含む)	630

４　教育普及事業

（１）天文分野

（講師：敬称略）

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	４月 15 日（日） ～3 月 31 日（日） (24 回)	12,345	
市民観望会 天文台の口径 80cm 大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧いただきます。	4 月 28 日(土) ～ 3 月 23 日(土) (11 回)	2,395	
金星の太陽面通過をみる会 金星の太陽面通過の様子を理工館6階の太陽望遠鏡や、理工館７階の「星のひろば」で太陽めがねを使って安全に観望	6 月 6 日（水）	約 2,000	
おんたけ星座教室 木曽御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体望遠をおこなう。	8 月 17 日(金) ～19 日(日)	68	名古屋市民御岳休暇村
プラネタリウムと星空観察会 **(星空継続観察)** 星空の見え方を継続観察することで、星をみえにくくしている光害の実態とその推移を調査する。	8 月 11 日(土) 1 月 12 日(土)	60(30 組) (内訳) 40（20 組） 20（10 組） 小学４年～中学3年生と保護者	名古屋市環境局

（２）理工分野

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
ロケットと宇宙のひみつ 宇宙開発についての話、ペットボトルロケットを製作し、白川公園で打上げ （小学生とその保護者）	5 月 26 日（土）	15 組 30	中菱エンジニアリング
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験教室　Ａコース（熟年向き） 講師：　愛知教育大学教授　戸谷義明氏・学生	6 月 23 日（土）	19	愛知教育大学
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験教室　Ｂコース（中学生向き） 講師：　愛知教育大学教授　戸谷義明氏・学生	7 月 7 日（土）	24	愛知教育大学

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
電子工作教室（ジュニアコース） 「かげブザーをつくろう」 （小学５・６年生）	７月 27 日(金)	27	
電子工作教室（親子コース） 「電子目覚ましをつくろう」 （小学３・４年生と保護者）	７月 28 日(土) 29 日(日)	27 組 54 （内訳） （14 組）28 （13 組）26	
「名古屋でんちフェスタ 2012」 （小中学生） でんち天才クイズ（４回） 手作り乾電池教室 クイズラリーなど	7 月 31 日（火）	900 （内訳） 300 400 200	中部日本放送、 社団法人電池工業会
科学実験を楽しむ会 放射線ウオッチング 放射線測定器を製作し、身のまわりの放射線を測る２日連続講座	７月 26 日(木) ～27 日(金) ８月 1 日(土) ～2 日(日)	49 （内訳） 中学生 19 高校生 20 大人 10	中部原子力懇談会
第 15 回リフレッシュ理科教室 「ゆれる！ふるえる!まわる！」 〇テーマ（各教室共通） A.「ゆらゆら波のりイルカ」 B.「もしもしカメさん大レース」 C.「磁石でぶるぶる恐竜バトル」 ① 先生のための実験工作教室 （小中学校の先生） ② こどものための実験工作教室 （小学 3 年～中学生）	8 月 3 日(金) 4 日(土)	173 （内訳） 34 139	㈳応用物理学会
レッツ・サイエンス 作ってわかる発電・蓄電 「振動型発電機」を組立て、電気エネルギー原理について学ぶ （小学 3 年生と保護者）	8 月 9 日（金） 8 月 23 日（土） 12 月 24 日(月)	46 組 117 （内訳） 48 44 25	ソニーイーエムシーエス（株）
トライサイエンス 探査機を宇宙に送ろう！ (小学生)	8 月 18 日(土) (3 回実施)	72	日本アイ・ビー・エム(株)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
～ワクワク実験隊～「鉄の不思議教室」 クイズあり、実験ありのサイエンスバラエティ-。　放電実験や電磁石の実験、手作りカイロなど、鉄のおもしろい実験の体験 （小学４～６年）	８月 21 日(火) (2 回実施)	71	(一般社団法人) 日本鉄鋼連盟
夏休み親子写真教室 「ピンホールカメラをつくって撮影しよう」空き箱に小さな穴をあけただけのピンホールカメラを作り、白黒写真で撮影、現像、プリントをする （小学生と保護者）	８月 25 日(土) 26 日(日) (4 回実施)	65 組 127 (内訳) (33 組) 66 (32 組) 61	(公益社団法人) 日本写真協会
夏休み親子プラモデル教室 スペースシャトルのプラモデルづくりを通して、航空機の歴史について学び、あわせてものづくりを体験する 講師：(株)ハセガワ　山本正義氏 （小学生と保護者）	8 月 25 日（土） (2 回実施)	41 組 75	（株）ハセガワ
講演会　近未来宇宙開発 **～ロケットから宇宙旅行～** 講師：中菱エンジニアリング(株) 宇宙設計室　酒井茂幸氏	9 月 9 日（日）	39	中菱エンジニアリング(株)
親子で学ぶ「航空・宇宙」in 名古屋市科学館 （親子）	9 月 29 日(土)	15 組 30	読売新聞中部支社
建築ウォッチング「科学館のひみつを見てみよう」 （小学生以上）	10 月 13 日(土)	30	日本建築学会 東海支部
ロボットを作って動かそう！（ロボラボ実験室） （小学 5～6 年生）	11 月 3 日(土)	15	日本アイ・ビー・エム(株)
かがくの実験室　（親子コース） 「七宝焼き」 （小学 3～4 年生と保護者）	12 月 22 日(土) 23 日(日)	48 組 96 (内訳) (24 組)48 (24 組)48	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
プラズマの日 プラズマ技術についての講演会および展示 講師：プラズマ技術産業応用センター 青木猛氏	1 月 13 日(日)	300	(公財)名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応用センター

（３）生命環境分野　　（講師：敬称略）

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
走る昆虫教室 **「ファーブル号」がやってくる！** ①昆虫標本作り講習会（2 回）	8 月 1 日(水)	1,760 (内訳) 60	健康福祉局生活衛生センター
第 11 回ヒメボタルサミット in 愛知 **オープンセミナー「ヒメボタル情報交換会」**	8 月 19 日(土)	30	「ヒメボタルサミット in 愛知実行委員会
かがくゼミナール ①「飲み物と歯のサイエンス」（歯のびっくりサイエンス　パート 23） 講師：愛知学院大学歯学部教授　中垣晴男氏 （小学３年生～中学生と保護者）	8 月 9 日（木）	17 組 34 (小人 17・大人 17)	協力：愛知県歯科医師会 歯のびっくりボランディアーズ
②「よく見えるってどんなこと？～目の度数と視力～」 講師：愛知淑徳大学　健康医療科学部 視覚科学専攻　教授　川瀬芳克氏 （小学３年生～中学生と保護者）	11 月 18 日（日）	17 組 34 (小人 17・大人 17)	
③「視力と眼の屈折・調節―近視は老視にならないか!?―」 講師：愛知淑徳大学　健康医療科学部 視覚科学専攻　教授　川瀬芳克氏	12 月 2 日(日)	19	
④「くすりのなかみを見てみよう」～薬との上手なつきあい方　パート 7～ 講師：名古屋市薬剤師会　寺島健二氏 （小学 3 年生～中学生と保護者）	2 月 3 日（日）	37 (小人 21・大人 16)	
⑤「たいばん」ってなあに？ 講師：名古屋大学医学部教授　鈴木和代氏と「ナーベルプラ座」 （小学 3 年生～中学生と保護者）	3 月 23 日(土)	29 (小人 13・大人 16)	

日本農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋市科学館「体内時計の乱れと食事とメタボ」 講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授　小田裕昭氏	11 月 24 日(土)	40	（公社）日本農芸化学会
エコパルなごやワークショップ テーマ：ストーンペイントしながら、川のはたらきを学ぶ　　4 回（1 回 30 分）	1 月 27 日(日)	147	名古屋環境学習センター
地球ライブ ①スペシャルトーク(サイエンスホール) テーマ：生命の限界に迫る～しんかい 6500 世界一周航海「QUELLE2013」速報 ゲストスピーカー： 海洋研究開発機構（JAMSTEC）システム地球ラボ研究員　西澤　　学氏 海洋研究開発機構（JAMSTEC）海洋・極限環境生物圏領域研究員　渡部裕美氏	3 月 24 日(日)	**計 515** （内訳） 174	特別協力： 独立行政法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
②サイエンスカフェ（レストラン） テーマ：お菓子で地層観察～地球観察に便利 ゲストスピーカー： 海洋研究開発機構（JAMSTEC）地球内部ダイナミクス領域研究員　　坂口有人氏	〃	41	
③サイエンストーク（理工館 6 階展示室） テーマ：地球深部探査船「ちきゅう」乗船者らが関連展示をライブ解説！ ゲストスピーカー： 海洋研究開発機構（JAMSTEC）地球深部探査センタースッタフサイエンティスト 前田玲奈氏、　西澤　学氏	〃	151 （２回開催）	
④地球工房スペシャル（生命館 2 階） テーマ：コアサンプルをデコって持ち帰ろう！地球の歴史を感じよう！ ゲストインストラクター： 海洋研究開発機構（JAMSTEC）高知コアセンターキュレーター　久光敏夫氏	〃	149	
かがくの実験室　（親子コース） 「作って食べよう・ラムネとカルメ焼き」 （小学 5～6 年生と保護者）	3 月 27 日（水） 28 日（木）	**18 組 36** （内訳） （5 組）10 (13 組)26	

（４）講演会・セミナー及び映画等（サイエンスホール）

（講師：敬称略）

事業名及び内容	開催期日	参加者数(人)	共　催　者
科学技術週間記念講演会 テーマ：**正しく放射線を理解するために** 講師：藤田保健衛生大学　医療科学部 准教授　横山　須美 氏 **科学技術映像祭入選作品発表会** **「知られざる放射能汚染～海からの緊急報告～」** （49 分　内閣総理大臣賞）	4 月 21 日(土)	236	（公財）中部科学技術センター
有人宇宙開発講座付 **映画「宇宙兄弟」特別試写会** 「人類の月への歩み歴史」講座と映画	4 月 28 日(土)	139 組 278	中京テレビ放送
第 39 回「化石を語る」文化講演会 **「日本の新生代貝類化石群集の消長と古環境返遷」** 講師：筑波大学名誉教授 小笠原　憲四郎　氏	4 月 29 日（祝）	130	東海化石研究会 中日新聞社
第 19 回生きている地球の記録 地球環境映像祭 2011 年度受賞作品の上映 「ホタルに恋して」始め 12 本	7 月 28 日（土） 29 日（日）	339	(公財)三菱 UFJ 環境財団 中日新聞社 アース･ビジョン組織委員会
第 21 回公開セミナー **「天文学の最前線～命を育む宇宙、太陽、そして惑星～」** ① 講演会・座談会・プラネタリウム ② 体験型研究室紹介	8 月 5 日(日) ～7 日(火)	317 （科学館） 高校生以上	名古屋大学大学院 理学研究科
「SL の魅力を語る会」 講演者およびパネリスト： 大井川鉄道(株)代表取締役社長 伊藤　秀生　氏 名古屋工業大学教授　堀越　哲美　氏 元国鉄機関士　川端　新二　氏 タレント　櫻井　せな　氏 名古屋市長　河村　たかし氏	10 月 27 日(土)	149	主催：名古屋市

事業名及び内容	開催期日	参加者数(人)	共　催　者
第 33 回古川為三郎サイエンス講演会 **「熱水が噴き出す海底を掘る」** 講師：海洋研究開発機構　海洋・極限環境生命圏領域深海・地殻内生物圏　研究プログラム　プログラムディレクター 高井　　研　氏	11 月 3 日（日）	146	
地球環境プロジェクト **～宇宙からのメッセージ～** 講師：東北大学大学院環境科学研究教授 安田　喜憲　氏 東海大学教授　　坂田　俊文　氏 JAXA 宇宙飛行士　油井　亀美也 氏	11 月 24 日（土）	156 （内訳）78 （小中高校生） 78 （保護者）	日本宇宙少年団
ロケットの開発 **～ロケットの信頼性と将来の宇宙ロケット～** 講師：元三菱重工業(株)宇宙機器部長 小林　　実　氏	12 月 9 日(日)	147	中菱エンジニアリング
第 11 回　坂田・早川記念レクチャー **高エネルギー加速器の不思議** 講師:高エネルギー加速器研究機構　加速器研究施設長　生出　勝宣　氏	12 月 22 日(土)	230	名古屋大学大学院理学研究科
FIRST サイエンスフォーラム３ **チャレンジ 日本と自分の可能性を切り拓け！** 登壇科学者：自治医科大学 学長　永井　良三　氏 東京大学大学院工学研究科 教授　水野　哲孝　氏 特別ゲスト：名城大学大学院理工学研究科 教授　飯島　澄男　氏	1 月 27 日（日）	150	独立行政法人 科学技術振興機構
第 90 回ＪＡＸＡタウンミーティング **日本の宇宙、支える中部の航空宇宙産業** 登壇者：宇宙航空研究開発機構(JAXA) 理事　中橋　和博　氏 JAXA はやぶさ２プロジェクトマネージャ　國中　　均　氏 名古屋大学教授　石川　隆司　氏 進行コーディネータ： JAXA エグゼクティブアドバイザ 西浦 みどり 氏 JAXA 広報部長　寺田　弘慈　氏	2 月 16 日（土）	218	ISTS 開発支援愛知・名古屋実行委員会 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

（５）フェスティバル及びイベント

（講師：敬称略）

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
科学館フェスティバル 青少年のための科学の祭典 2012　名古屋大会 会場：名古屋市科学館・でんきの科学館	10 月 6 日(土) 7 日(日)	2,478 (5,200) () 内はでんきの科学館含む	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会 (公財)中部科学技術センター (公財)日本科学技術振興財団・科学技術館 中日新聞社
高校生による科学の祭典 2012 名古屋市立の高校生たちが日頃の研究成果を発表 会場：イベントホール	10 月 28 日（日）	550	

（６）連携事業（連携協定に基づき実施）

（講師：敬称略）

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数(人)	共 催 者 等
親子対象フィールドセミナー　地球教室 学習した後現地で実習する　（２日連続） （小学 3 年生～中学 3 年生と保護者）		120 (内訳)	名古屋大学博物館
①深海の地層と化石を調べよう(名古屋大学博物館、南知多の海岸)	5 月 12 日(土) 13 日(日)	30	
②ナゴヤで化石をさがそう！(名古屋大学博物館、名古屋駅周辺、栄地区)	8 月 25 日(土) 26 日(日)	30	
③川原の石で包丁をつくろう（名古屋大学博物館、木曽川の河原）各務原市/犬山市 （小学 5 年生～中学 3 年生と保護者）	10 月 27 日(土) 28 日(日)	27	協力 ・愛知大学名古屋一般教育研究室 ・蒲郡市生命の海科学館
④鉱物をさがそう！ （名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、三田石材（愛知郡西尾市）） （小学 3 年生～中学 3 年生と保護者）	2 月 23 日(土) 24 日(日)	33	
こうのとり 3 号機 **H-IIB ロケット 3 号機打上げ** **パブリックビューイング**	7 月 21 日(土)	200	JAXA(宇宙航空研究開発機構)

（７）出前ミュージアム（その道の達人事業）及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房（ものづくりボランティア）

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数（人）	ボランティア数（人）
びっくりへび・虹の筒 ぱたぱたチョウ	昭和	鶴舞小学校	1～3	6	8	金	85	8
浮沈子・息をする人形	西	那古野小学校	4・6	6	12	火	39	4
びっくりへび・からまり時計	中	松原小学校	1．5	6	19	火	70	8
浮沈子	天白	原　小学校	4	6	26	火	130	8
息をする人形	昭和	伊勝小学校	6	6	29	金	38	4
ぱたぱたチョウ・浮沈子	千種	宮根小学校	3．4	7	6	金	116	8
びっくりへび	港	東築地小学校	1	9	18	火	96	8
びっくりへび	中川	露橋小学校	2	9	21	金	59	4
びっくりへび・虹の筒 浮沈子	北	杉村小学校	1.2.4	9	26	水	101	4
びっくりへび・虹の筒	昭和	滝川小学校	1・2	10	25	水	234	12
虹の筒	緑	熊の前小学校	2	11	14	水	171	8
びっくりへび・虹の筒	天白	相生小学校	1・2	11	20	火	41	4
息をする人形	名東	本郷小学校	6	12	11	火	65	8
ぱたぱたチョウ・息をする人形	天白	表山小学校	3・6	12	13	木	206	12
びっくりへび・虹の筒	中村	日吉小学校	1・2	12	18	火	110	8
虹の筒	名東	西山小学校	2	1	11	金	199	12
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	北	楠西小学校	2～3	1	16	水	177	8
虹の筒・ぱたぱたチョウ	中	名城小学校	2・3	1	18	金	68	4
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	昭和	吹上小学校	1～3	1	25	金	147	8
からまり時計	東	旭丘小学校	5	1	31	木	65	8
びっくりへび・ 虹の筒・ぱたぱたチョウ	瑞穂	瑞穂小学校	1～3	2	5	火	198	12
虹の筒・からまり時計	中村	八社小学校	2・5	2	7	木	151	12
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	中川	野田小学校	1・3	2	13	水	147	8
ぱたぱたチョウ	名東	高針小学校	3	2	20	水	76	4
ぱたぱたチョウ	緑	桃山小学校	3	2	26	火	97	4
ぱたぱたチョウ	千種	大和小学校	3	2	28	木	59	4
計				26 回			2,945	192
	平成 23 年度実績			28 回			2,981	192

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

内　　容	実 施 学 校 名	開催期日	参加者数(人)
粉のふしぎ	徳重小学校　　６年生	4 月 24 日(火)	63
	豊が丘小学校 4～６年生	2 月 26 日 (火)	33
岩石の観察と地球の歴史	表山小学校　　６年生	9 月 18 日(火)	102
	本郷小学校　　６年生	9 月 25 日(火)	63
	太子小学校　　６年生	9 月 28 日(金)	75
	御劔小学校　　６年生	10 月　4 日(木)	35
	戸田小学校　　６年生	11 月 13 日(火)	101
	小坂小学校　　６年生	11 月 15 日(木)	125
空気の力	小碓小学校　　４年生	6 月 14 日(木)	92
	松原小学校　　４年生	6 月 19 日(火)	34
	野田小学校　　４年生	6 月 28 日(木)	84
	南陵小学校　　４年生	7 月 10 日(火)	46
	鳥羽見小学校　４年生	10 月　2 日(火)	55
計		13 回	908
	平成 23 年度実績	12 回	810

③トワイライト事業（運営員）

内　　容	実施学校名	開催期日	参加者数(人)	共　催　者
低温の実験・静電気の実験	榎小学校	5 月 17 日(木)	36	(財)名古屋市教育スポーツ協会
	稲西小学校	5 月 24 日(木)	47	
	新栄小学校	11 月 15 日(木)	28	
	村雲小学校	11 月 22 日(木)	64	
	瑞穂小学校	2 月 21 日(木)	44	
	万場小学校	2 月 28 日(木)	80	
計		6 回	299	
	平成 23 年度実績	6 回	605	

（８）ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア（ＡＬＣ）　　登録者数 136 人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人）
【養成】　天文事業指導者養成講座 天文事業の指導助手となるボランティアの養成講座で、参加資格は、高校生以上(基礎講座 3 回・実技講座 3 回)	12 月 8 日 ～ 3 月 10 日	211
【活用】 天文事業指導者養成講座終了者で構成される天文指導者クラブ員を、天文事業(市民観望会・昼間の星をみる会など)の指導者や指導助手として活用	4 月 15 日 ～ 3 月 31 日	941

②ものづくりボランティア　　登録者数：120 人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人）
【養成】　ものづくりボランティア教室 ものづくり工房をはじめとして、各種行事において、実験工作などの指導者となるボランティアの養成（講座７回)で、参加資格は 18 歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	11 月 24 日 ～ 2 月 2 日	26
【活用】 館の事業（ものづくり教室・ものづくり工房など）のほか、生涯学習センター等が主催する事業や出前ものづくり工房の講師・助手として活用 ①ものづくり工房　毎週土曜日（夏・冬・春休み中を除く） ②ものづくり教室　第３土曜日（７・８・12・３月を除く）	(注) 活用状況は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	
【関連事業】 生涯学習施設、小中学校及び関係団体等との連携事業で講師、又は助手として指導	6 月 24 日 ～ 3 月 24 日	59 (参加者数) 894
１）生涯学習センターとの連携 ①中川生涯学習センター「青年ふれあい日曜学校」 ②千種生涯学習センター「親子科学教室」		内訳　()内は参加者数 5（35） 4（24）
２）学校・ＰＴＡとの連携 ①田代小学校ＰＴＡ「ふれあい広場」 ②東築地小学校ＰＴＡ「ファミリーフェスタ」 ③愛知教育大学付属小学校		6（330） 5（ 40） 12（240）

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人）
３）類似施設との連携 ①とだがわこどもランド「創造の部屋イベント」 ②東邦ガス「エコ教室」 ③藤浪コミュニテイ「夏休み工作教室」 ④草平コミュニテイ「夏休み工作教室」 ⑤中文化センター「夏休み工作教室」		 5（41） 10（120） 4（24） 4（24） 4（20）
４）出前ものづくり工房	**（注）活用状況は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載**	
楽しい鉄道模型 ボランティアが持ち寄ったいろいろな列車模型の走行	6月・ 9～3月 日曜日8回開催	来館者対象

③展示室ボランティア　　登録者数：195人

事　業　名　及　び　内　容	開催期間	参加ボランティア（人）
【養成】　展示室ボランティア養成講座（３時間×7回） 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成講座参加資格：１８歳以上	1月13日 ～ 3月 3日	22
【活用】 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月 1日 ～ 3月31日	延べ4,610
【研修等】 総会	4月14日（土）	138
フォローアップ研修　第1～6回（延べ11回実施）	4月～3月	800
生命ラボ研修（3回実施）	6月12日（火） ～14日（木）	27
企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」研修	10月26日（金） および 11月16日（金）	15

（９）科学館友の会

昭和 38 年４月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年７月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年４月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年３月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年４月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営されている。

①天文クラブ

会員数 1,059 人（一般クラス）　会費 3,000 円

（例会）

区分	一般クラス(高校生以上)
例会	年６回木・金曜日（年６回実施） 18：30～20：15
1	プラネタリウム・ダイジェスト
2	暗黒時代から第１世代の星へ
3	星のカタチ
4	望遠鏡の最前線
5	超新星爆発
6	宇宙から地球をみる

（特別行事）

内　　容	開催期日	参加者数（人）
おんたけ星座教室〈名古屋市民御岳休暇村〉	8 月 17 日(金)～19 日（日）	68 (うち天文クラブ 7)
特別天体観望会　　土星　　午後 8 時～9 時	6 月 7 日（木）	224
木星　　午後 7 時～8 時	2 月 21 日（木）	153

②サイエンスクラブ

会員数　448 人（小学生クラス：320 人　会費 7,000 円　、中学生クラス：128 人　会費 8,000 円）

（例会）

区分	小学生クラス(小学５・６年生)	中学生クラス
例会	年６回　土・日曜日	年６回　土・日曜日
	Ａ～Ｄ　9：40～12：40（計 40 回実施）	Ａ～Ｄ　9：40～12：40（計 16 回実施）
	Ｅ、Ｆ　9：45～10：35（計２回実施）	Ｅ、Ｆ　9：45～10：35(計２回実施)
A	羊の毛の性質を利用して布をつくろう	有孔虫を探そう
B	七宝焼き	光通信機をつく ろう
C	カイロをつくろう	魚のＤＨＡを調べてみよう
D	導通テスターをつくろう	コンピュータはどうやって計算するの
E	星うらないの星座たち	星の神話伝説
F	宇宙人はいるか？	あなたも宇宙飛行士

（夜間観望会）

内　　容	開催期日	参加者数（人）
月　　午後７時～８時 30 分	10 月 28 日(日)	雨天中止
オリオン星雲　　午後７時～８時 30 分	3 月 2 日（土）	239 (560 保護者含む)

③先進科学塾　　（講師：敬称略）

内　　容 高校生以上を対象とした実験を主体とした講座	開催期日	参加者数（人）
ヒトの感覚の不思議に迫る　清水 裕樹（愛知医科大学助手）	9 月 15 日（1 日講座）	5
反応速度は何によって変わるか　林　正幸（元県立高校教諭）	11 月 10 日･12 日(1 日講座)	15
光の屈折と速度　　林 熙嵩（愛知工業高校講師）	12 月 8 日･16 日(1 日講座)	15

(10) 名古屋少年少女発明クラブ

平成14年度から18年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりを持つ「少年少女発明クラブ」に移行し、これまでの科学館を活動の場としたものづくり工房・教室、地球工房・教室に加えて、館を拠点にして名古屋市内５箇所で、会員制の出前教室を行う。

①**「ものづくりコース」**　ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアの指導を受けながら、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房　（土曜日・祝日・夏冬春休み・無料）

月	工作内容	日数	参加者数(人)	月	工作内容	日数	参加者数(人)
4	組みゴマ	4	363	11	トラフーのらせんこま	3	256
5	ファンタジースコープ	3	222		特別ものづくり	2	50
6	ポンでくるくる	5	402	12	ねじりとんぼ	3	319
7	花火から星へ	2	201		特別ものづくり	8	627
	夏休み特別	6	688	1	ストロー風車	3	232
	水のふしぎ実験室	2	240		特別ものづくり	3	240
8	夏休み特別	1	3,003	2	MY☆UFO	4	344
	水のふしぎ実験室	1	1,320		特別ものづくり	1	40
9	浮かぶボール	4	358	3	ぱみゅぱみゅホバークラフト	3	212
10	サボニウス風車	3	146		特別ものづくり	8	1,537
				計		69	10,800

【参考】　平成23年度開催日数　42日
平成23年度参加者数　4,191人

2)ものづくり教室　（第３土曜日等・有料）

開催期日	工作内容	参加者数(人)	開催期日	工作内容	参加者数(人)
4月21日	ペットボトル万華鏡	16	12月15日	ハッピーネーク	9
5月19日		33	1月19日		23
6月16日	うたうコップ	19	12月27日	冬休みものづくり教室（小5～中3対象）	23
9月15日		27	1月 5日		30
10月20日	宇宙遊泳	13	2月16日	マイプラネタリウム	23
11月17日		17	3月16日		28
			計		261

【参考】　平成23年度開催回数　10回
平成23年度参加者数　270人

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業で講師、または助手として指導

場所及び内容	開催期間	参加者数（人）
①戸田小学校３年生「ぱたぱたチョウ」	3月　5日（火）	295（ボランティア16）
②藤が丘小学校３年生「ぱたぱたチョウ」	3月　8日（金）	
③西味鉾小学校３年生「ぱたぱたチョウ」	3月12日（火）	
④明正小学校３年生「ぱたぱたチョウ」	3月14日（木）	

4)ものづくり教室（デリバリー）　（会員制・有料）

対象：小学４年～中学生（各教室延べ８回）

	千種	瑞穂	天白	西	中川	計	延べ参加者数（人）
会員数（人）	30	30	24	24	24	132	1,056

開催期日	工　作　内　容
第１期(4～7 月）4 日間	ころころスイッチ点灯クリスマスツリーをつくろう
第２期(10～12 月）4 日間	地震感知器と液状化現象再現装置をつくろう

【参考】　平成 23 年度開催回数　45 回
平成 23 年度参加者数　1,046 人

5）「自由創作教室」（会員制・有料）
対象：小学５年生～中学生（平成 22～24 年度クラブ員（希望者））

開催期日	工　作　内　容	7 月	8 月	参加者数(人)
7 月・8 月（7 日間）	自由テーマで作品を製作	34	25	59

【参考】　平成 23 年度開催回数　5 回
平成 23 年度参加者数　80 人

6）「第３回全国少年少女チヤレンジ創造コンテスト」（無料）　主催：（社）発明協会
対象：小学５年生～中学生（平成 24 年度クラブ員、一般参加希望者、チーム制）

開催期日	工　作　内　容	7 月	8 月	11 月（全国大会）	参加者数(人)
7 月・8 月・１１月（6 日間）	モーターとゴムで動くハイブリットカーの製作と地区大会の開催、全国大会参加	14	53	3	70

②「ロボットコース」　これからのものづくりに求められるソフトウエアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1)ロボット工房　（毎週日曜日・無料）

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	1	133	10	1	91
5	2	212	11	2	219
6	2	252	12	2	234
7	2	362	1	2	237
8	―――	―――	2	2	339
9	3	379	3	2	338
			計	21	2,796

【参考】　平成 23 年度開催日数　38 日
平成 23 年度参加者数　8,411 人（見学者含む）

2)ロボット教室
・開催期日　毎月第３日曜日と８月 16 日(木)・17 日(金)
・対　　象　小学校４年～中学生
・内　　容　ロボットの組み立て（初級者向け）
・参 加 費　13,000 円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4 月 15 日	8	9 月 16 日	10
5 月 20 日	10	11 月 18 日	8
6 月 17 日	8	1 月 20 日	6
7 月 15 日	12	2 月 17 日	7
8 月 16・17 日連続	20	3 月 17 日	8
		計	97

【参考】 平成 23 年度開催日数　　8 日
平成 23 年度参加者数　76 人

３）発展型キロボ教室
・開催期日：　2 月 10 日（日）、3 月 17 日（日）
・対　　象：　小学校 4 年～中学生
・内　　容：　ロボットの組み立てとプログラミング（中級者向け）
・参加者数：　27 人
・参 加 費：　無料

４)ロボカップジュニア大会
○ロボカップジュニアなごやオープン
・開催期日　10 月 20 日（土）
・会　　場　名古屋市科学館
・参加者数　小学５年～中学生　　15 チーム・29 人
○ ロボカップジュニアなごや大会
・開催期日　10 月 21 日(日)
・会　　場　名古屋市科学館
・参加者数　小学４年～中学生　　18 チーム・36 人
○ ロボカップジュニア東海ブロック大会
・開催期日　12 月 15 日(土)
・会　　場　愛知工業大学付属中学校　淳和記念館
・参加者数　サッカーチヤレンジ　60 人(28 チーム)
サッカーA ライトウエイト：ロボット重量 1.1kg 以下　19 チーム(38 人)
各地区大会からの参加者：なごや大会 6 人、なごやオープン 4 人、大町大会 2 人、蒲郡大会 6 人、高浜大会 6 人、浜松大会 4 人、みえ大会 2 人、名古屋西大会 6 人、みかわ大会 4 人
サッカーA オープンリーグ：ロボット重量 2.4kg 以下　5 チーム(10 人)
サッカーチャレンジB（上位者)：4 チーム(12 人)
(レスキューチャレンジ、ダンスチャレンジも同時開催)
○他団体へのロボカップジュニアの指導
ロボカップジュニアみえ大会開催指導
日時　10 月 13 日(土)
会場　みえこどもの城

③「地球コース」
地球工房（毎週土・日曜日、祝日・有料）

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	8	331	10	9	394
5	8	432	11	9	528
6	9	503	12	9	366
7	6	468	1	9	521
8	2	204	2	9	589
9	11	726	3	11	851
			計	100	5,913

【参考】平成 23 年度開催日数　　60 日
平成 23 年度参加者数　3,563 人

（11）コンクール事業

<table>
<tr><th>事業名及び内容</th><th>募集期間</th><th>展示期間</th><th>区分</th><th>参加資格</th><th colspan="2">応募数
（顕彰数）</th></tr>
<tr><td rowspan="8">平成 24 年度科学創作コンクール
①「科学の夢を描く部門」
（Ｂ３判画用紙）
②「科学工作部門」
（科学的な考えを生かして作った工作品）
③「理科自由研究部門」
小３・４、小５、小６、中１、中２、中３の６部門に分け、観察や実験による理科の自由研究レポートを募集
以上３部門に分けて創作作品を募集

・応募作品の中から、優秀な作品を顕彰し館内で展示

・中日新聞社、(財)中部科学技術センター共催</td><td rowspan="8">8 月 25 日(土)
～
9 月 6 日(木)</td><td rowspan="8">10 月 8 日(祝)
～13 日(土)

表彰式
10 月 13 日(土)
(参加者 107 人)</td><td>絵画部門</td><td>幼児
（３歳以上）
小・中学生
（個人）</td><td colspan="2">204 点
(30 点)</td></tr>
<tr><td>工作部門</td><td>小･中学生、高校生（個人又はグループ）</td><td colspan="2">199 点
(21 点)</td></tr>
<tr><td>小 3・4 年</td><td rowspan="6">小学３年
～中学生</td><td>145 点</td><td rowspan="6">(48 点)</td></tr>
<tr><td>小５年</td><td>93 点</td></tr>
<tr><td>小６年</td><td>142 点</td></tr>
<tr><td>中１年</td><td>350 点</td></tr>
<tr><td>中２年</td><td>296 点</td></tr>
<tr><td>中３年</td><td>132 点</td></tr>
<tr><td>計</td><td>1,158 点</td><td></td></tr>
<tr><td>第 56 回日本学生科学賞愛知県展

・観察や実験による理科の自由研究のレポートを募集

・応募作品の中から、優秀な作品を顕彰し館内で展示

・読売新聞社共催</td><td>10 月 5 日(土)</td><td>10 月 16 日(火)
～10 月 19 日(土)

表彰式
10 月 19 日(土)
(参加者 91 人)</td><td>物理</td><td rowspan="5">中･高校生、個人、又はグループ</td><td colspan="2" rowspan="5">52 点
(11 点)</td></tr>
<tr><td>化学</td></tr>
<tr><td>生物</td></tr>
<tr><td>地学</td></tr>
<tr><td>一般</td></tr>
</table>

（12）博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣　　旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実　習　期　間	7 月 28 日（土）～8 月 8 日（水）のうち休館日を除く 10 日間
実　　習　　生	名城大学(5 人)、愛知教育大学(2 人)、信州大学、東京農業大学、神奈川大学、東海大学、岡山大学、琉球大学(各 1 人)　　合計 13 人
実　習　内　容	名古屋市科学館及び常設展示、大型展示、館内・事業見学、各種教育普及活動見学及び補助、広報活動、ボランティア、実演と説明業務、展示品の保守、天文の事業とプラネタリウム、自主企画、他施設見学など

(13) 職場体験・職場訪問

総合的な学習や社会体験学習で、職場体験が行われている。社会教育主事が窓口となり、各学校の依頼に対応している。展示係、普及係、情報資料室と連絡調整を行い、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理の体験、資料の整理などの活動を行っている。また、職場訪問では、館内の見学をしたり、天文、科学一般、環境について質問を受けたりしている。

区　分	職場体験	職場訪問
小学校	――――	――――
中学校	18 校　61 人	26 校　268 人
高等学校	1 校　4 人	――――
教　員	4 校　4 人	――――

(14) その他

事　業　名　及　び　内　容	開催期日	参加者数（人）	共催者等
３館コラボ企画 **伏見サイエンスエリアにいこう！** ・でんきの科学館、 ・エコパルなごや、 ・名古屋市科学館 会場を移動しそれぞれ違う施設のスタッフが実演	4 月　7 日(土) 8 日(日) 4 月 14 日(土)15 日(日) 4 月 21 日(土)22 日(日)	1,421	でんきの科学館 エコパルなごや
環境学習センター・名古屋市科学館コラボ企画 **エコパルなごや出張ワークショップ in 創造のひろば**			エコパルなごや
①川原の石に絵を描きながら川のはたらきについて学ぶ	1 月 27 日（日）	147	
②「においのひみつ」公害のひとつである悪臭についてクイズやポプリ作りを通して学ぶ	2 月 24 日（日）	113	
③「環境かみしばい」で環境のことを分かり易く説明し、クイズも行う。	3 月 24 日（日）4 回	104	

５　調査研究

（テーマ１）高校理科への支援に関する１，２の試み

愛知県理科教育研究会高等学校部研究大会に講師を派遣し､科学史研究者による講演会の開催を試みた。当館では、模型や実験装置を駆使し、物理、化学、生物などの基本原理の理解増進を図っている。高等学校理科教員が、これらの原理、法則の生まれた背景に関する理解を深めることによって、よりよい授業を創り出す契機となることを期待した（日程：平成 24 年 11 月 28 日、講師：愛知県立大学名誉教授・小柳公代、演題：｢「パスカルの原理」と実験神話｣)。併せて、高校生オリンピックの現状に関する調査を行った。

（テーマ２）ボーリングコアの展示手法および普及活動への活用

ドリルパイプを回転させて地下を掘削することで得られた円柱状の岩石や地層を回収したボーリングコアは､地下深部の情報が得られる極めて貴重な研究試料である。このボーリングコアの展示手法を開発することで､その認知度を図るとともに､地下環境研究へ活用を提示しながら地球科学の普及啓発を目指した。

（テーマ３）全天デジタル映像による天文現象の再現

2011年3月のリニューアルで導入されたデジタル式プラネタリウムはコンピューターで制作した星空や映像コンテンツを、プロジェクターを使ってドーム全面に映し出すことができる。

本研究では、金環日食および皆既日食のデジタル画像、動画を取得しデジタル式プラネタリウムでドーム内に再現しようとした。５月の金環日食は名古屋での観測ができ、撮影・映像活用も行ったが、11 月のオーストラリアでの皆既日食は撮影することが出来ず、次回への持ち越しとなった。

６　印刷物の発行

名　　称	内　　容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No.400～401	科学館広報誌　　Ａ４版　８頁	55,000	別　掲
名古屋市科学館要覧 (24 年度)	Ａ４版 74 頁	600	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係行政機関 科学館協議会委員 企画調査委員　等
名古屋市科学館紀要 第 39 号	調査研究の報告　他　Ａ４版 76 頁	350	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立小・中・特別支援学校、市立高等学校、16 区役所・５支所、市立図書館、市生涯学習センター、市スポーツセンター、市政情報課、市広聴課、デーリープラザ、市博物館、蓬左文庫、市美術館、市文化財保護室、国内科学館・博物館施設、財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、財団法人中部科学技術センター、科学館友の会会員、　　等

７　広報活動

種　　別	内　　容	実施時期	備　　考
名古屋市による広報	市長室発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 104 万部
マスコミへの広報	１）市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社　８社 放送　　６社 通信　　２社 を始め出版、タウン情報誌など約 80 社
	２）市長室広報課の「市政記者クラブ」を通して、広くＰＲを行った	随時	
ポ　ス　タ　ー	特別展について、地下鉄、私鉄、市広報板に掲出し、また、市内の学校などに送付した	随時	区役所、生涯学習センターなどの市民利用施設及び関係機関 約 650 か所
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめて配布した	年２回	(NO.400) 30,000 部 (NO.401) 25,000 部
テレホンサービス	常時、館の情報を流し、利用者の利便向上を図った	毎日	年間利用 約 1,900 回
案内パンフレット ・ チラシ	行事ごとにパンフレット及びチラシを作成した（見学ガイド、７カ国語リーフレットほか)	随時	
他施設等の広報誌による広報	他施設の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った（観光ガイドブック・生涯学習なごやなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行業者にパンフレットを送付した	随時	
ホームページ	ホームページによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

８　他施設との交流

（１）国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

○ 全国科学博物館協議会　○ 全国科学館連携協議会　○ 指定都市科学館連絡会議
○ 東海地区博物館連絡協議会　○ 愛知県博物館協会　○ 日本プラネタリウム協議会
○ 天文教育普及研究会　○ 日本天文学会　○ 東亜天文学会

※　名古屋市科学館を会場として開催

・平成 24 年度　愛知県博物館協会　理事会・総会　6 月 26 日(火)
・平成 24 年度　全国科学館連携協議会東海ブロック研修会　12 月 5 日(水)・6 日(木)

（２）国際活動

下記の国際組織に加盟し、積極的に海外博物館資料の収集に努めた。

○ 国際プラネタリウム協会　ＩＰＳ

（３）視察受入れ

科学館の運営状況などの調査研究、外国人観光客誘致を目的として、多数の国内外の視察者、事業者、マスコミ（博物館施設職員、他都市職員・議員、韓国、タイ等）を受け入れた。

（４）芸術と科学の杜

名古屋市美術館と科学館が連携し、芸術と科学に親しまれる場として白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、さらに、周辺の文化施設や商店街等ともタイアップし、さまざまな魅力ある事業の展開をした。(24 年の主な取り組み)

6 月　1 日(金)～7 月 31 日(火)
○「芸術と科学の杜」シンボルマーク募集

8 月 10 日(金)　○　シンボルマーク決定

芸術と科学の杜

最優秀賞　1 点　　優秀賞 1 点

＊　応募総数 400 点　内訳　一般 202 点
（うち市内 79、県内 40、県外 83)、市立高校 198 点）

11 月　3 日(土)　○　アート大会　市美術館が企画・実施　10:00～15:00　参加者 5,000 人
白川公園を会場として家族で楽しめるイベント（対象：来館者）
・「巨大地上絵 in 白川公園」
・「美術館と科学館をつなごう！」ほか

11 月 3 日(土)・4 日(日)
○　杜の駅＠科学館
周辺の商店街・施設が、屋外展示広場で出店イベント
○　芸術と科学のまちでアサラをさがせ！
参加者 720 人（3 日 400 人、4 日 320 人）
まち(栄二丁目周辺)で店に貼られたアサラのイラストを見つけスタ

ンプを押すと、くじびきで賞品がもらえる。

11 月　6 日(火)　○　エントランスコンサート　名古屋フィルハーモニー交響楽団「まちかどコンサート」

11 月 24 日(土)　○　エントランスコンサート　　金管アンサンブルで奏でる音の世界

○　アート＆サイエンスツアー　　参加者 10 人

名古屋観光コンベンションビューロー主催のまち歩きツアーに協力

理工館６階、天文館５階を学芸員が案内

11 月 25 日(日)　○　エントランスコンサート　　愛知大学ニ胡部演奏会

12 月 22 日(土)　○　クリスマスコンサート (ハンドベル)

（５）研究機関等との相互協定

平成 24 年 3 月 19 日(月)　名古屋大学理学部と相互協力に関する協定

平成 24 年 5 月 1 日(火)　名古屋大学情報文化学部と相互協力に関する協定

平成 24 年 7 月 18 日(水)　宇宙航空研究開発機構と相互協力に関する協定

平成 25 年 3 月 26 日(火)　名古屋大学博物館と相互協力に関する協定

９　高校生科学力向上促進事業

（1）　電気自動車プロジェクト　（平成２３年度～２５年度）

高校生が、大学のセミナー、企業のインターンシップなどに参加しながら、科学の学習を深め、二次電池の基本である鉛蓄電池を製作し、エンジンの電気自動車に搭載、走行を行う。最新のリチウムイオン電池や電気自動車に関する発展的な学習を通じて、次世代の中部地域の産業を支える人材を育成する。

○　主催：名古屋市科学館、公益財団法人中部科学技術センター

○　共催：名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター、中日新聞社

○　参加校　名古屋市立菊里高等学校、名古屋市立向陽高等学校、名古屋市立桜台高等学校、愛知県立旭丘高等学校　　参加人数 約 40 名

7 月 23 日(月)～25 日(水)　　九州方面調査研修（九州大学、三菱電機等見学）

7 月 31 日（火）～8 月 2 日(木)　東京方面調査研修（慶応大学、トヨタ車体工場等見学）

12 月 22 日(土)　　西美緒講演会（名工大）　　参加人数 18 人

3 月 25 日（月）～29 日(金)　　マレーシア日本国際工科院で研究中間発表

デンソーマレーシア工場見学等

（2）　飛行機プロジェクト（平成２３年度～２４年度）

地元企業等の協力、指導を得て、小型一人乗り飛行機の製作実験を実施する。

対象：名古屋市立工業高等学校

１０　名古屋市科学館 50 周年記念事業

（1）　名古屋市科学館 50 周年記念式典

日　時　　11 月 3 日(土・祝)　9:00～9:45

会　場　　プラネタリウムドーム「Brother Earth」

参加者　　一般公募　125 組 250 人
　　特別公募　　5 組　10 人(昭和 37 年 11 月 3 日生まれの方を含むペア)
　　〃　　5 組　10 人(平成 24 年に結婚 50 年を迎えるご夫婦)
内　容　主催者あいさつ（市長、教育委員長)、来賓祝辞、科学館長あいさつ
　　記念トークイベント（ゲスト：映画監督・演出家　　堤　幸彦　氏)

（２）　記念コンサート　喜多郎 in Brother Earth（ブラザー アース）　（有料）

日　時　　11 月 17 日（土)、11 月 18 日（日）　19:00～20:30
参加者　　各回 345 人（計 690 人）
会　場　　プラネタリウムドーム「Brother Earth」
内　容　　プラネタリウムの生解説と、アーティスト喜多郎によるシンセサイザーの演奏とのコラボレーションによるコンサート

（３）　名古屋音楽大学学生による記念コンサート

日　時　11 月 18 日（日）　13:00～14:00　　参加者　　201 人
会　場　　サイエンスホール
内　容　　名古屋音楽大学室内オーケストラ、名古屋音楽大学学生による星・宇宙に因んだ楽曲やオペラの楽曲等の演奏

（４）　科学館思い出の展示品の販売

改築前の科学館の展示品を、ヤフー官公庁オークションを利用したインターネット入札により販売

販 売 品　　0 系新幹線部品（客席２台、先頭部分、運転席）
　　C63 形蒸気機関車模型、D51 形蒸気機関車模型、151 系特急つばめ模型
　　マンモスタンカー日本丸模型　　（計８点）
入札期間　　11 月 26 日（月）～12 月 3 日（月）
開　　札　　12 月 5 日（水）

（５）　Brother Earth（ブラザー アース）　星と光と環境の夕べ

主　催　　名古屋市科学館、ブラザー工業株式会社
日　時　　12 月 22 日（土）　16:30～19:40　　参加者　　320 人
内　容　　１部　プラネタリウム観覧　　プラネタリウムドーム「Brother Earth」
　　２部　ＬＥＤキャンドル作り　（会場：理工館Ｂ２　イベントホール)
　　３部　松本零士氏による環境トークショーと音楽デュオ“CHILDHOOD”のミニコンサート　（会場：サイエンスホール)

１１　その他

（１）　Brother Earth（ブラザー アース）　２周年記念イベント

主　催　　名古屋市科学館、ブラザー工業株式会社
日　時　　3 月 20 日（水・祝）　9:50～12:45　　参加者　　320 人
内　容　　１部　プラネタリウム観覧　　プラネタリウムドーム「Brother Earth」
　　２部　C.W.ニコル氏講演会と環境ミニイベント(会場：サイエンスホール)

【講演テーマ】森から未来を見る

（２）　長野県木曽清峰高校の生徒が製作した木製玩具寄贈感謝状贈呈式

贈　呈　式　　3 月 27 日（水）

寄　贈　品　　木製玩具　パズル　始め９品

設 置 場 所　　理工館２階　創造のひろば

１２　研修講座等

（1）「全国小学校理科研究大会愛知大会」への協力

期　　間　　6 月 1 日（金）～3 月 13 日（水）　21 回

10 月 27 日(土)　　プレ公開授業

内　　容　　学芸員が講師となり、栄小学校児童を対象に科学館や栄小学校において授業を行った。

（2）稲沢東高校サイエンスパートナーシッププロジェクト（ＳＳＰ）

期　　間　　7 月 11 日（水）、9 月 26 日(水)　参加人数 21 人

（3）向陽高校スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）

期　　間　　7 月 4 日（水）

（4）名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部

期　　間　　8 月 7 日（火）　　参加人数 40 人

講　　師　　小塩哲朗 学芸員

共 催 者　　名古屋市学校教育研究会

（5）愛知県理科教育研究会　高等学校部会研究大会

期　　間　　11 月 28 日（水）

（6）名古屋市教育委員会と科学館ボランティアの懇談会

期　　間　　11 月 15 日（木）　　ボランティア参加者数 10 人

（7）愛知県高等学校文化連盟　自然科学専門部　研究発表大会

期　　間　　2 月 9 日（土）

１３　館外実施事業の状況

（単位：人）

事　業　名	24年度		23 年度		22 年度		参照ページ
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
出前ミュージアム	39	3, 853	40	3, 791	35	2, 985	27 ページ
トワイライトスクール	6	299	6	605	6	1, 259	28 ページ
文部科学省指定校出前事業	―	――	―	――	―	――	――
地球教室	4	120	4	97	4	131	26 ページ
おんたけ星座教室	1	68	1	45	1	53	19 ページ
計	50	4, 317	50	4, 460	50	4, 378	

14　情報収集保存活動

（１）情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、すべての資料（図書・雑誌・コンピューターソフト・映像資料など）を室内自由閲覧・自由使用に供した。

◎ 情報資料室データ（平成 23 年 3 月理工館１階に移設）

備　　品	ソ　フ　ト	図　書　類
パソコン　6 台 　インターネット用(5 台) 　事務・調査用　　(1 台) ビデオデッキ　4 台 　ＶＨＳ再生専用　(2 台) 　ＤＶＤ・ＶＨＳ複合機　(2 台)	ビデオソフト　956 本 ＶＨＳ　　(877 本) ＤＶＤ　　(115 本) ＣＤ－ＲＯＭ　218 本	図書　　約 6,520 冊 雑誌　　20 種 　月刊誌　　(8 種) 　研究機関誌　　(12 種) 新聞　　1 紙 全国科学館・博物館資料　　292 冊

（２）インターネット

名古屋市科学館では、平成７年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト（http：//www.ncsm.city.nagoya.jp/）の公開も開始した。

平成 23 年 3 月 19 日の新館開館にあわせて、ウェブサイトの全面的な更新を行った。また、各フロア１台、計 10 台の情報検索端末を導入した。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(平成 24 年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	329,145	6,115	10	305,087	5,395
5	430,273	6,216	11	266,150	5,030
6	377,517	5,399	12	239,767	4,049
7	374,754	6,151	1	252,157	4,396
8	481,604	10,097	2	269,379	4,363
9	332,827	5,216	3	380,653	6,115
			計	4,039,313	68,542

15　平成24年度入館者状況

（1）　月別利用状況　（個人・団体別）

（単位：人）

	入館人員	営業日数	1日平均	個　人				団　体※						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内	市外	電子申請
4月	115,731	25	4,629	71,830	3,904	28,069	103,803	5,911	2,360	3,657	11,928	4,562	5,922	1,444
5月	134,413	25	5,377	80,811	3,883	28,312	113,006	7,243	1,214	12,950	21,407	7,521	12,560	1,326
6月	106,068	25	4,243	61,801	3,468	17,439	82,708	8,141	1,124	14,095	23,360	11,958	10,186	1,216
7月	109,506	25	4,380	60,612	3,075	24,128	87,815	7,780	1,221	12,690	21,691	8,211	11,146	2,334
8月	190,245	28	6,794	99,282	7,135	63,519	169,936	10,568	482	9,259	20,309	5,541	9,454	5,314
9月	91,707	23	3,987	53,915	6,666	17,174	77,755	7,039	237	6,676	13,952	6,033	6,693	1,226
10月	91,039	25	3,642	45,075	3,314	14,671	63,060	7,618	728	19,633	27,979	13,374	13,513	1,092
11月	87,293	25	3,492	44,138	3,510	14,830	62,478	7,177	1,204	16,434	24,815	12,316	11,467	1,032
12月	69,617	23	3,027	35,775	3,850	13,730	53,355	5,264	645	10,353	16,262	7,971	7,349	942
1月	76,838	23	3,341	39,396	2,977	16,799	59,172	4,516	233	12,917	17,666	12,351	4,496	819
2月	80,448	23	3,498	41,940	5,225	14,784	61,949	4,894	715	12,890	18,499	11,019	6,562	918
3月	150,467	26	5,787	81,393	9,786	44,414	135,593	6,001	724	8,149	14,874	5,298	8,170	1,406
計	1,303,372	296	4,403	715,968	56,793	297,869	1,070,630	82,152	10,887	139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
構成比（%）		上段　個人・団体別		67%	5%	28%	100%	35%	5%	60%	100%	46%	46%	8%
		下段　全体での割合		55%	4%	23%	82%	6%	1%	11%	18%	8%	8%	1%

※団体には電子申請を含む

(2)　入館者月別利用状況　（利用種別）

（単位：人）

	展示室とプラネタリウム				展　示　室				合　計				当月のプラネの割合	プラネの開館以来の累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	32,446	4,326	9,146	45,918	45,295	1,938	22,580	69,813	77,741	6,264	31,726	115,731	40%	16,083,531
5月	32,844	2,676	12,086	47,606	55,210	2,421	29,176	86,807	88,054	5,097	41,262	134,413	35%	16,131,137
6月	33,137	2,642	14,097	49,876	36,805	1,950	17,437	56,192	69,942	4,592	31,534	106,068	47%	16,181,013
7月	31,502	2,497	15,946	49,945	36,890	1,799	20,872	59,561	68,392	4,296	36,818	109,506	46%	16,230,958
8月	33,066	3,632	20,755	57,453	76,784	3,985	52,023	132,792	109,850	7,617	72,778	190,245	30%	16,288,411
9月	27,649	4,173	8,788	40,610	33,305	2,730	15,062	51,097	60,954	6,903	23,850	91,707	44%	16,329,021
10月	29,617	3,092	16,460	49,169	23,076	950	17,844	41,870	52,693	4,042	34,304	91,039	54%	16,378,190
11月	28,217	3,381	14,915	46,513	23,098	1,333	16,349	40,780	51,315	4,714	31,264	87,293	53%	16,424,703
12月	25,522	3,374	12,695	41,591	15,517	1,121	11,388	28,026	41,039	4,495	24,083	69,617	60%	16,466,294
1月	24,756	2,472	14,926	42,154	19,156	738	14,790	34,684	43,912	3,210	29,716	76,838	55%	16,508,448
2月	25,536	4,635	13,055	43,226	21,298	1,305	14,619	37,222	46,834	5,940	27,674	80,448	54%	16,551,674
3月	28,675	7,122	14,613	50,410	58,719	3,388	37,950	100,057	87,394	10,510	52,563	150,467	34%	16,602,084
計	352,967	44,022	167,482	564,471	445,153	23,658	270,090	738,901	798,120	67,680	437,572	1,303,372	43%	
構成比	27%	3%	13%	43%	34%	2%	21%	57%	61%	5%	34%	100%		

(3) 団体地域別入館者数

(単位:人)

地域	区分	件数	人数	人員百分率(%)
東海	市内	1,847	106,155	49.68%
	愛知	1,031	58,878	27.56%
	岐阜	320	13,578	6.35%
	三重	299	15,819	7.40%
	静岡	67	3,328	1.56%
	小計	3,564	197,758	92.55%
北陸	福井	43	1,680	0.79%
	石川	24	786	0.37%
	富山	35	1,133	0.53%
	小計	102	3,599	1.69%
甲信越	新潟	1	34	0.02%
	長野	37	1,451	0.68%
	山梨	5	104	0.05%
	小計	43	1,589	0.74%
関東	東京	13	463	0.22%
	神奈川	7	166	0.08%
	千葉	2	471	0.22%
	埼玉	1	23	0.01%
	小計	23	1,123	0.53%
近畿	滋賀	75	3,938	1.84%
	京都	45	2,493	1.17%
	大阪	38	1,294	0.61%
	奈良	12	536	0.25%
	和歌山	5	96	0.04%
	兵庫	10	365	0.17%
	小計	185	8,722	4.08%
中国	鳥取	2	40	0.02%
	島根	1	12	0.01%
	岡山	1	12	0.01%
	小計	4	64	0.03%
四国	香川	1	54	0.03%
	小計	1	54	0.03%
九州	福岡	2	66	0.03%
	大分	1	50	0.02%
	小計	3	116	0.05%
東北	青森	1	33	0.02%
	岩手	4	164	0.08%
	小計	5	197	0.09%
北海道沖縄	北海道	1	19	0.01%
	沖縄	1	20	0.01%
	小計	2	39	0.02%
外国	中国	5	152	0.07%
	韓国	3	108	0.05%
	台湾	1	26	0.01%
	インドネシア	1	28	0.01%
	シンガポール	1	27	0.01%
	オーストラリア	1	28	0.01%
	小計	12	369	0.17%
その他	不明	1	43	0.02%
	小計	1	43	0.02%
合計		3,945	213,673	100%

※ 電子申請を含まない

参考資料

1 年度別入館者数

年度	入館者数	内プラネタリウム入館者数	営業日数（日）	一日平均	個人 大人		中高生	小学生以下	計	団体 大人		中高生	小学生以下	計	市内	市外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	11,883	15,339	54,097	5,245	—	24,442	27,239	56,926	—	—
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	19,821	25,975	91,355	9,662	—	47,583	63,447	120,692	—	—
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	49,650	57,244	189,317	12,275	—	49,259	74,150	135,684	—	—
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	55,870	72,624	223,024	13,454	—	49,119	80,699	143,272	—	—
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	48,381	72,073	211,003	21,442	—	47,539	95,736	164,717	65,142	99,575
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	45,610	71,671	201,917	36,367	—	42,049	98,887	177,303	71,549	105,754
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	46,620	91,834	237,339	32,482	—	45,996	115,923	194,401	78,887	115,514
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	52,100	107,619	270,097	23,684	—	36,822	122,795	183,301	76,615	106,686
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	46,238	112,918	267,618	15,469	—	29,296	133,434	178,199	81,945	96,254
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	47,988	118,015	271,714	17,967	—	37,836	142,771	198,574	81,457	117,117
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008		424,161	745,312	2,017,481	188,047		409,941	955,081	1,553,069	455,595	640,900
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	46,669	130,325	280,048	12,853	—	29,701	142,246	184,800	72,515	112,285
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	48,862	137,816	303,229	11,461	—	28,636	154,640	194,737	79,338	115,399
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	44,918	141,206	300,817	13,221	—	32,085	163,893	209,199	81,177	128,022
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	46,493	167,510	353,448	12,400	—	28,378	159,569	200,347	83,613	116,734
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大人		廃止	中学生以下	計	大人		廃止	中学生以下	計	市内	市外
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	—	166,156	301,225	17,118	—	—	177,208	194,326	83,852	110,474
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	—	163,125	305,882	15,055	—	—	180,810	195,865	87,483	108,382
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	—	174,502	327,235	17,172	—	—	175,282	192,454	77,568	114,886
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	—	164,754	316,058	17,744	—	—	181,989	199,733	78,791	120,942
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	—	150,296	302,285	57,522	—	—	233,764	291,286	178,904	112,382
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	—	136,897	285,797	14,196	—	—	177,391	191,587	77,275	114,312
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503		611,103	2,277,899	5,093,505	376,789		528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111	1,794,718
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	—	134,148	283,923	17,891	—	—	174,458	192,349	83,642	108,707
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	—	110,113	245,883	14,442	—	—	158,376	172,818	71,103	101,715
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	—	113,062	267,986	18,167	—	—	166,096	184,263	86,574	97,689
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	—	114,491	283,744	32,037	—	—	183,969	216,006	120,435	95,571
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	—	98,694	261,397	15,590	—	—	144,322	159,912	76,031	83,881
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	—	128,928	324,996	75,423	—	—	171,192	246,615	167,887	78,728
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	—	119,364	295,566	16,264	—	—	128,259	144,523	76,938	67,585
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	—	148,123	450,084	46,153	—	—	140,521	186,674	122,284	64,390
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	—	173,796	517,234	47,614	—	—	174,007	221,621	135,999	85,622
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	—	193,828	571,730	22,825	—	—	132,334	155,159	75,659	79,500
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499		611,103	3,612,446	8,596,048	683,195		528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663	2,658,106

4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	220,654	566,308	21,890	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412	
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	203,974	538,765	18,980	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266	
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	277,186	563,528	30,327	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349	
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	275,551	618,538	15,254	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081	
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	285,073	573,450	12,090	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752	
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	259,373	503,999	12,218	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520	
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	303,425	601,725	13,749	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753	
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	298,372	619,712	10,796	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652	
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	238,172	447,931	10,041	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279	
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	247,957	453,542	11,549	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040	
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260		611,103	6,222,183	14,083,546	840,089		528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210	
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	315,391	607,185	9,053	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692	
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	296,374	544,154	10,892	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674	
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	306,241	542,847	8,290	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116	
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	217,833	414,316	8,042	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417	
年 度	入館者数	内ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	営業日数	一日平均	大　人	高大生		中学生以下	計	大　人	高大生		中学生以下	計	市　内	市　外	
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	270,513	531,501	8,776	2,756	—	71,544	83,076	53,611	29,465	
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	290,710	540,001	7,461	2,240	—	69,254	78,955	51,378	27,577	
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	278,421	530,373	7,627	2,213	—	67,651	77,491	50,933	26,558	
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	281,485	530,764	6,736	2,335	—	66,322	75,393	51,386	24,007	
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	210,537	428,419	4,838	1,532	—	47,168	53,538	43,911	9,627	
年 度	入館者数	内ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	営業日数	一日平均	大　人	高大生		中学生以下	計	大　人	高大生		中学生以下	計	市　内	市　外	電子申請
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687		339,153	1,304,572	72,648	10,128		144,506	227,282	97,772	118,936	10,574
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793		297,869	1,070,630	82,152	10,887		139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
50年累計	28,874,857	16,783,921	14,902	1,938	10,969,780	220,715	611,103	9,326,710	21,128,308	1,066,604	32,091	528,741	6,119,113	7,746,549	3,704,535	3,555,797	29,643

２　常設展示品

〔展示品数238点（理工館130点・天文館36点・生命館57点・大型展示4点・屋外展示8点・その他3点）〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館２階 （33点）	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない？	総合その他	平22	市
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
		すきとおるかがみ	総合その他	平22	市
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
		おちにくいかたち	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
		パラボラ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
		ふしぎなえんばん	総合その他	平22	市
		きえるからだ	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	あなたもさっきょくか	総合その他	平３	市
		NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈
		たこのダンス	総合その他	昭39	市
		イライラぼう	総合その他	平５	市
		Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品
	あそびのひろば	わくわくタワー	総合その他	平22	市
		ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市
技術のひろがり 理工館３階 （20点）	街ではたらく機械	モノづくり都市パノラマ	交通･機械	平22	市・寄
		電車	交通･機械	平22	市
		クレーン	交通･機械	平22	市
		大型船	交通･機械	平22	市
		飛行機	交通･機械	平22	市
		ロボット	交通･機械	平22	市・寄
	機械の素	歯　車	交通･機械	平１	市
		滑　車	交通･機械	平22	市
		て　こ	交通･機械	平22	市
		ね　じ	交通･機械	平22	市
		ベルトプーリー	交通･機械	平22	市
	部品・製品をつくる	けずる	交通･機械	平22	市
		プレス	交通･機械	平22	市
		溶接	交通･機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通･機械	平22	市・寄
	身近な機械	ミシン	交通･機械	平22	市・寄
		自動販売機	交通･機械	平22	市・寄
		掃除機	交通･機械	平22	市・寄
		時計	交通･機械	平22	市・寄
		くらしの中の電子機器	交通･機械	平22	市・寄
科学原理とのふれあい 理工館４階 （31点）	実験のアトリエ	水の波を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		縦波と横波	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		電磁波	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		音の波を見る	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		音のフレネルレンズ	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		ボールの色選び	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		偏光	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理とのふれあい 理工館４階 (31点)	実験のアトリエ	屈折	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		振動する磁界	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		磁性流体	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		電磁石	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		トムソンリング	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		磁界のかたち	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		モーター	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		落ちにくい円盤	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		モンキーハンティング	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		加速度と距離	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		回る水槽	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		モーメント	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		転がる円盤	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		パラボラの反射	数学･情報	平22	市
	数学	自然を数字で表す	数学･情報	平22	市
		公式と図形	数学･情報	平22	市
		物理現象に見る数学	数学･情報	平22	市
		自然現象に見る数学	数学･情報	平22	市
		直線がつくる曲面	数学･情報	平22	市
	情報科学	情報科学とは	数学･情報	平22	市
		二進法のしくみ	数学･情報	平22	市
		文字のコード化	数学･情報	平22	市
		デジタル画像	数学･情報	平22	市
物質・エネルギーのせかい 理工館５階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超撥水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
		半導体	物質	平22	市
		セラミックス	物質	平22	市・寄
		金属	物質	平22	市・寄
		有機材料	物質	平22	市
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
		炭素	物質	平22	市
	エネルギー	エネルギーとは	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		世界のエネルギー事情	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		わたしたちの主なエネルギー源	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	出品
		エネルギーで成り立っているわたしたちのくらし	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
		エネルギーQ&A	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
最新科学とのであい 理工館６階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文･宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-ⅡBロケット～	天文･宇宙	平22	市・出

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館６階 (14点)	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-地球観測衛星のまなざし-	天文･宇宙	平22	市
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文･宇宙	平22	市
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市・出
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出
		地下から地球を解き明かす-地震観測網-	環境	平22	市
		地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市
	話題の科学	話題の科学１	総合その他	平22	市
		話題の科学２	総合その他	平22	市
宇宙のすがた 天文館５階 (36点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文･宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文･宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文･宇宙	平22	出品
		光学望遠鏡のしくみ	天文･宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文･宇宙	平22	市
		65cm反射望遠鏡	天文･宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさくらべ	天文･宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文･宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文･宇宙	平22	市
		電波天文学	天文･宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文･宇宙	平22	出品
		Ｘ線天文学	天文･宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文･宇宙	平17	市
		星のまたたき	天文･宇宙	平22	市
		宇宙線をみる	天文･宇宙	平22	市
	宇宙のひろがり	パワーズオブテン	天文･宇宙	平22	市
		太陽系	天文･宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文･宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文･宇宙	平22	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文･宇宙	平22	市
		惑星探査	天文･宇宙	昭45	市
		宇宙を探る	天文･宇宙	平22	市
		宇宙を測る	天文･宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文･宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文･宇宙	平22	市
		星の世界	天文･宇宙	平22	市
		銀河の世界	天文･宇宙	平22	市
		銀河系と天の川	天文･宇宙	平22	市
		宇宙の果て	天文･宇宙	平22	市
	プラネタリウムの歴史	プラネタリウムの歴史	天文･宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文･宇宙	平22	寄贈
		ツアイスⅣ型プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		ファイバー式プラネタリウム	天文･宇宙	平22	市
		デジタルタイムカプセル	天文･宇宙	平22	市
		星座早見盤	天文･宇宙	平22	市
地球のすがた 生命館２階 (16点)	地球環境変化の歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平８	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マプサウルス	環境	平21	市
	地球のデザイン	生命地球	環境	昭63	市
		水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
		ダイアモンドダスト再現装置	環境	平17	寄贈

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
地球のすがた 生命館２階 （16点）	地球のデザイン	地震実験装置	環境	平10	市
		地球環境ゲーム	環境	平15	市
		地球環境マップ	環境	平10	市
	発見処	発見処	総合その他	平13	市
		地球工房	総合その他	平16	市
生活のわざ 生命館３階 （11点）	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市
		くらしと時間	生活	平13	市
人体のしくみ 生命館４階 （19点）	巨大人体	骨と筋肉	生命	昭63	市
		呼吸と循環	生命	昭63	市
		口腔と歯	生命	昭63	市
		消化と吸収	生命	昭63	市
		排出	生命	昭63	市
		ホメオスタシス	生命	昭63	市
	脳	ジャイアントブレイン	生命	昭63	市
		脳	生命	平24	寄贈
		ヒトの脳と動物の脳	生命	平24	市・寄
	からだはかわる	からだの変化	生命	平10	市
		一生の変化	生命	平10	市
		データマン	生命	平10	市
	生命のサイクル	受精から出産まで	生命	昭63	市
	感覚器	感覚器	生命	昭63	市
	感覚診断	熱さ冷たさを知る	生命	昭63	市
		身体チェックラリー	生命	昭63	市
		方向を聴く	生命	昭63	市
	からだと健康	人体のしくみ（男子像、女子像）	生命	昭63	寄贈
		健康百科	生命	昭63	市
生命のひみつ 生命館５階 （11点）	生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市
		生命ラボ	生命	平23	市
		生きものギャラリー	生命	平23	市
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市
	細胞	細胞共和国	生命	平24	市
		細胞ラボ	生命	平24	市
	増殖と遺伝	生命の基本物質	生命	昭63	市
	ＤＮＡ	ＤＮＡとは何か	生命	昭63	市
		ＤＮＡのはたらき	生命	昭63	市
		ゲノムの迷路	生命	平17	市
	バイオテクノロジー	バイオテクノロジーとは	生命	昭63	市

大型展示（４点）

水の広場 理工館2･3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ			
		うずをつくる			
	うみのステージ	アルキメデスのポンプ			
		おうふくポンプ			
		かいてんポンプ			
		かいてんぐるま			
		ながれあそび			

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
水の広場 理工館2･3階	うみのステージ	みずでっぽう	総合その他	平22	市・寄
		ジャンボしゃぼんまく			
		りったいしゃぼんまく			
		ぶくぶくタンク			
		ポコポコタンク			
竜巻ラボ	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
放電ラボ 理工館4･5階	放電ラボ	放電ラボ	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	市
極寒ラボ 理工館５階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄

その他

エントランスホール 理工館１階	エントランス展示	LE-7エンジン	天文･宇宙	平６	出品
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室 生命館１階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文･宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 （８点）	屋外展示	B6型蒸気機関車	交通･機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通･機械	昭49	出品
		H-IIBロケット	天文･宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文･宇宙	平23	寄贈
		ニュートンのりんごのき	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平22	寄贈
		フランシス水車	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	昭43	出品
		無人探査機　ドルフィン３K	環境	平16	出品
		風力発電装置	ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	平16	寄贈

分類別集計

天文･宇宙	44
物質	27
数学･情報	10
ｴﾈﾙｷﾞｰ･物理	30
交通･機械	22
生命	30
環境	26
生活	11
総合その他	38
合計	238

備考欄集計

市	193	81%
市・寄	20	8%
市・出	4	2%
寄贈	13	5%
出品	9	4%
合計	239	100%

建物集計

理２	33	
理３	20	
理４	31	
理５	32	
理６	14	130
天５	36	36
生２	16	
生３	11	
生４	19	
生５	11	57
大型	4	4
その他	3	3
屋外	8	8
合計		238

３　年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経常費歳出 人件費	経常費歳出 運営費	経常費歳出 計	歳入決算（観覧料）	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
昭和36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事（天文館）完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事（理工館）着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事（理工館）完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	ＳＣＲ調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設（初年度分） 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設（第２年度分） 552,200 科学館の改修（初年度分） 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設（最終年度分） 2,415,770 科学館の改修（最終年度分） 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

（次ページへ続く）

年度	経常費歳出			歳入決算(観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
平成元	311,870	611,743	923,613	113,723	636,758	生命館開館式典費 4,720	
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工舘耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算（観覧料）	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出	
	人件費	運営費	計					
	千円	千円	千円	千円	人	千円		千円
平成20	335,160	387,104	772,264	666,687	607,864		理工館・天文館改築	288,640
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築	2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築	12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築	794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372			

（注）　昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進費（平成９年度までは社会教育総務費）にて一括計上のため按分により算出。

4 展示協力

協　力　者	展　示　品　名	区　分	展示場所
特殊法人宇宙開発事業団	H-Ⅱロケットメインエンジン(LE-7)	展示品出品	理工館１階
立命館大学文学部心理学専攻教授　北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館２階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授　杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館２階
住友特殊金属株式会社	ＮＫＳじしゃく	展示品寄贈	理工館２階
名古屋市消防局		展示品出品	理工館２階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき（超はっ水シート）	物品寄贈	理工館２階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授　高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館２階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ（模型車両）	物品寄贈	理工館３階
日本車輌製造株式会社	電車	画像協力	理工館３階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館３階
高木　常雄	蒸気機関車Ｃ53模型	物品寄贈	理工館３階
	蒸気機関車Ｃ64模型	物品寄贈	理工館３階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館３階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館３階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館３階
三菱航空機株式会社	飛行機	画像協力	理工館３階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館３階
株式会社デンソー	ロボット（産業ロボット体験装置）	装置部寄贈	理工館３階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館３階
名古屋市立工業高校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館３階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館３階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形（名古屋市型マンホールふた）	物品寄贈	理工館３階
ブラザー工業株式会社	ミシン（ミシンのしくみ体験装置）	装置部寄贈	理工館３階
	ミシン（スケルトンミシン）	装置部寄贈	理工館３階
	くらしの中の電子機器（複合機・モバイルプリンター）	物品寄贈	理工館３階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機（自動販売機）	装置部寄贈	理工館３階
日立アプライアンス株式会社	掃除機（掃除機）	装置部寄贈	理工館３階
	掃除機（掃除機カットモデル）	物品寄贈	理工館３階
リコーエレメックス株式会社	時計（時計分解図パネル・時計部品）	物品寄贈	理工館３階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館３階
株式会社日立製作所　中部支社	くらしの中の電子機器（薄型テレビ）	物品寄贈	理工館３階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器（蛍光灯電球）	物品寄贈	理工館３階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器（圧力IH炊飯ジャー）	装置部寄贈	理工館３階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館３階
株式会社デンソー	電磁波（ミリ波レーダー）	物品寄贈	理工館４階
東京都立高校教諭　田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館４階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館４階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館４階
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解（ノートパソコン筐体始め7点）	物品寄贈	理工館５階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ（金属）	装置部寄贈	理工館５階
	形状記憶合金（形状記憶合金）	装置部寄贈	理工館５階
	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館５階
株式会社ＩＮＡＸ	超はっ水と超親水（超親水タイル）	物品寄贈	理工館５階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水（超はっ水シート）	物品寄贈	理工館５階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授　高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館５階
高砂香料工業株式会社	香料（香料）	装置素材寄贈	理工館５階
	炭素	装置素材寄贈	理工館５階
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化（サーモクロミズムシート）	装置部寄贈	理工館５階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館５階

協　　力　　者	展　示　品　名	区　　分	展示場所
日本特殊陶業株式会社	セラミックス（ファインセラミックス標本）	物品寄贈	理工館５階
新日本製鐵株式会社　名古屋製鉄所	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館５階
愛知県鍍金工業組合	金属（めっき標本）	物品寄贈	理工館５階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館５階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館５階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館５階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちのくらし	資料寄贈	理工館５階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ（南極の建築部材）	物品寄贈	理工館５階
国立極地研究所	極寒ラボ（防寒具）	物品寄贈	理工館５階
	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館５階
	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館５階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
関西電力株式会社	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館５階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館５階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館５階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館５階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する（H-ⅡBロケット試験機の衛星フェアリングの一部）	物品寄贈	理工館６階
	宇宙へ到達する（M-Ⅴノーズフェアリングカットモデル）	物品出品	理工館６階
	宇宙環境を利用する（SFUサーマル・ブランケット）	物品出品	理工館６階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館６階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館６階
	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館６階
三菱重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館６階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館６階
京都大学大学院工学研究科准教授　山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館６階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏－ジオスフェア	画像協力	理工館６階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館６階
東北大学理学部地球科学系教授　掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館６階
国立科学博物館	地圏－マントルと核	画像協力	理工館６階
独立行政法人海洋研究開発機構	地下へ到達する	画像協力	理工館６階
	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料出品	理工館６階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館６階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館６階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館６階
徳島大学　押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館６階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館６階

協　　力　　者	展　示　品　名	区　　分	展示場所
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館６階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館６階
名古屋大学博物館教授　吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館６階
財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館７階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館５階
国立天文台　岡山観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	資料出品	天文館５階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品出品	天文館５階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（Ｘ線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・Ｘ線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館５階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	Ｈ－Ⅱロケット(模型)	展示品出品	天文館５階
国立天文台　かぐやプロジェクト	月への挑戦	データ協力	天文館５階
国立天文台　4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館５階
アイジンガー・プラネタリウム	アイジンガー・プラネタリウム	画像協力	天文館５階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館５階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館５階
東京工業大学　丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館２階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館２階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館２階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館２階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館２階
信州大学理学部　原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館２階
日本ガイシ株式会社	ダイヤモンドダスト再現装置	展示品寄贈	生命館２階
	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館２階
財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館３階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館３階
	環境とくらし	展示品寄贈	生命館３階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館３階
株式会社東海銀行・株式会社スズケン	人体のしくみ(男子像・女子像)	展示品寄贈	生命館４階
横河メディカルシステム株式会社	医学ホログラム	展示品寄贈	生命館４階
名古屋大学医学部放射線医学教室		展示品寄贈	生命館４階
公益財団法人中部科学技術センター	ゲノムの迷路	展示品出品	生命館５階
石原産業株式会社	Ｂ６型蒸気機関車	展示品寄贈	屋　　外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品出品	屋　　外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-ⅡBロケット第１段エンジン部	物品寄贈	屋　　外
	H-ⅡBロケット第１段ＬＨ２タンク	物品寄贈	屋　　外
	H-ⅡBロケット第１段中央部	物品寄贈	屋　　外
	H-ⅡBロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋　　外
	H-ⅡBロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋　　外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋　　外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごのき	展示品寄贈	屋　　外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン３Ｋ	展示品出品	屋　　外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋　　外
公益財団法人中部科学技術センター	フランシス水車	展示品出品	屋　　外

5　特別展及び企画展

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭 38.　6. 1 ～ 6.16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10.10～11.10	8,000
たのしい科学玩具展　～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2.　1 ～ 2.26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6.　2～ 6.14	――――
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6.　1～ 6.13	12,000
交通の科学展 ～戦後 20 年のあゆみと近代化～	10.27 ～11.7	20,000
豊田佐吉生誕 100 年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4.10 ～ 4.24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4.18 ～ 5.　7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6.　4 ～ 6.18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10.29 ～11.12	25,098
電力王福沢桃介生誕 100 年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6.22 ～ 7.　7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10.　2 ～11.10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44.11.　1～ 11.16	30,780
あかりの科学展	45.11.　1～ 11.15	20,517
日本の地震展	46. 7.22 ～ 8.　1	――――
月の石と宇宙科学展	47. 1.　9～ 1.23	49,876
花火の科学展	47. 9.15～10.　1	――――
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10.29～11.12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4.24～　5.　6	――――
コペルニクス展 ～生誕 500 年～	49. 1.　4～　1.20	――――
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49.10.27～11.10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5.17～ 6.　1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1 ～11.16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51.11.　3～11.14	2,546
地図の科学展	52. 3.19～ 4.　3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52.10.29～11.13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1.　7～ 1.22	5,222
日本化学会創立 100 周年記念展 ～日本の化学 100 年のあゆみ～	53.10.17～10.29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2.17～　3.　4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7.21～　8.　5	33,218
電気 100 年展 ～エジソン電球からＬＳＩまで～	10.27～ 11.　1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7.26～ 8.10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10.18～11.30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3.　6～ 3.21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7.24～ 8.15	45,102
新コミュニケーション展	58.10.14～11.　6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3.17～ 3.29	9,409
サイエンス・アート	59. 7.25～　8.　5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8.　1～ 8.11	15,767
恐竜イグアノドン展	10.　8～11.24	57,594
鉄道の科学	61. 7.26～ 8.10	25,000
ＮＨＫ地球大紀行展	62. 4.25～ 5.24	100,758
ザ・カメラ展	8.　6～ 8.16	15,767
オルゴールの科学	63. 7.28～ 8.　7	15,799

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
人類誕生400万年展	平元. 1.29～ 6.18	106,795
第１回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7.23	5,777
特別展 世界最新のホログラフィ	7.29～ 9.10	30,260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11 .3～12. 3	7,230
特別展 発明王エジソン展	2. 4.21～ 6.17	78,775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7.21～ 8.31	104,335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10.20～11.11	46,929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4.27～ 5.12	33,805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7.20～ 9. 1	106,013
第２回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10.10～11.10	54,691
特別展 生命の大進化展	4. 3.20～ 5.10	69,039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7.18～ 8.30	72,459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11.12	32,409
第３回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4.23～ 6. 6	50,534
特別展 のりもの大集合展	7.17～ 8.31	88,482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打切り)	6. 3.19～ 3.24	8,770
企画展 '93名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7.17	28,441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7.21～ 8.31	101,323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9.10～10.16	30,301
特別展 知られざるサメの世界展	11.23～ 7. 1. 8	36,251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1.14～ 1.29	29,289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3.18～ 4. 2	31,118
第４回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4.28～ 6.25	41,855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7.22～ 8.31	48,637
特別企画 クリスタルワールド ① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」 ② 企画展 「結晶の科学展」	9. 9～10.29	74,789
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3.23～ 5.26	94,384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7.20～ 9. 1	52,472
特別展 大生命展	10.10～11.17	21,499
特別行事 '96青少年のための科学の祭典	11.23～11.24	11,533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3.16～ 3.30	25,142
第５回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29,690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7.19～ 8.31	51,138
企画展 空気と遊ぼう	9.13～ 9.28	27,914
超空間展'97	10. 7～10.26	31,326
企画展 鉄道模型50年のあゆみ	11.22～11.24	10,480
緊急企画 ポカポカ地球は大変!君ならどうする？ ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2.10～ 3. 1	22,114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3.21～ 5.10	33,107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6.30	147,197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネットへ～	7.18～ 8.30	47,600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10.31～11. 1.17	99,484
企画展 '98名古屋タンポポ調査隊報告展	12.19～11. 1.17	78,466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった!？～	11. 3.20～ 5.16	45,218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7.17～ 8.31	62,574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9.15～ 9.26	17,503
特別展 中部地質情報展 ～20億年のタイムトラベル～	9.15～10.11	45,529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10.30～12. 1.30	96,867
特別展 宇宙展2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3.18～ 5.14	64,504

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平12. 7.15～ 8.31	39,140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10.13～12.28	88,994
企画展 君も気象予報士	13. 3.17～ 3.31	18,669
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4.29～ 5. 6	36,505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7.20～ 9. 2	59,387
企画展 素材とかたちの科学＝建築とE.トロハ展 ～過去・現在・未来～	10.11～10.30	3,517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1.25～ 3. 3	38,263
企画展 光とあそぼう	3.16～ 3.31	23,509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4.13～ 6.30	32,395
開館40周年記念特別展 ロボットワールド	7.20～ 9. 1	118,878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6,297
特別展 水俣・名古屋展	11.16～15. 1.13	8,064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1.25～ 3. 2	53,109
企画展 地球のデザイン	3.15～ 3.30	21,638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7.19～ 8.31	88,334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10.18～12. 7	40,272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3.20～ 4. 4	26,916
特別展 むし虫ワールド	16. 7.18～ 8.31	140,661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち　～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3.19～ 4. 3	19,804
特別展 庶民の算術展	17. 4.29～ 6.26	3,969
特別展 Go! Go! ゴールド	7.16～ 8.31	46,018
なるほど・THE・エネルギー　科学市場	11. 3～11.16	17,710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3.18～ 4. 2	28,916
特別展 のりものワールド	18. 7.22～ 9. 3	85,214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25,170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3.17～ 4. 8	56,219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3.17～ 5.27	57,696
特別展 ザリガニワールド	19. 7.21～ 9. 2	74,334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9.22～ 9.30	14,983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10.13～10.28	20,110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1.14	70,849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3.20～ 6.15	92,024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7.19～ 8.31	48,340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1.31～ 3.15	56,537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3.20～ 4. 5	27,689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3.20～ 4. 5	27,689
特別展 お菓子の秘密	21. 7.18～ 8.31	90,521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から400年 宇宙の謎を解き明かす	10.17～11.29	46,225
プレCOP10企画展 肉食恐竜マプサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3.14	104,826
企画展 電気をつくろう	12.16～ 4.11	148,538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3.20～ 4. 4	32,993

展　　覧　　会　　名	開　催　期　間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 「行こうよ、もう一度！思い出の科学館」	平22. 7. 3～ 8.31	――――
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7.17～ 8.31	87,589
COP10開催記念企画展「生物多様性～あいちのニホンカモシカ」	22.10.11～10.31	24,277
緊急企画展 小惑星探査機「はやぶさ－帰還カプセル」	10.14～10.18	17,752
開館記念　古川為三郎サイエンス企画展 「最新の映像技術　深海の不思議」	23.3.19～ 5. 5	13,815
特別企画「お化け屋敷で科学する！」	23. 4.23～ 6.26	72,886
新館開館記念特別展「黄河大恐竜展～中国・甘粛省大恐竜群の新発見～」	7.16～ 8.31	157,822
新館開館１周年記念特別展「ＯＣＥＡＮ！海はモンスターでいっぱい」	24. 3.17～ 6.10	105,732
特別展「空飛ぶのりもの」	24. 7.21～ 9. 2	58,323
企画展「見つめてふしぎ！人間の眼」	11.17～12. 2	6,266
特別展「ドラえもんの科学みらい展」	25. 3.16～ 5. 6	123,179

６　観覧料の変遷

（１）昭和 37 年 11 月 1 日　天文館開館

［全　館］

大　人	１００円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	７０円
小　人（小学校児童及び幼児）	５０円

（２）昭和 39 年 11 月 1 日　理工館開館

［全　館］

大　人	１５０円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	１００円
小　人（小学校児童及び幼児）	７０円

［天文館］

大　人	１００円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	７０円
小　人（小学校児童及び幼児）	５０円

［理工館］

大　人	７０円
中　人（高等学校及び中学校生徒）	５０円
小　人（小学校児童及び幼児）	３０円

（３）昭和 51 年４月１日　観覧料改定

［全 館］

大　人	２００円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	１００円

［展示室のみ］

大　人	１００円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	５０円

（４）昭和 59 年４月１日　観覧料改定

［全 館］

大　人	３００円
小　人（中学校生徒・小学校児童及び幼児）	１５０円

※展示室のみは据置き

（５）平成元年４月 29 日　生命館開館

［全 館］

大　人	５００円
小　人（中学校生徒及び小学校児童）	２００円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

［展示室のみ］

大　人	２５０円
小　人（中学校生徒・小学校児童）	１００円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

（６）平成６年４月１日　観覧料改定

［全 館］

大　人	６００円
小　人（中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	１００円

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

［展示室のみ］

大　人	３００円
小　人（中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

※ 小学校就学の始期に達するまでの者は無料

（７）平成 18 年４月１日　観覧料改定

［全 館］

大　人	６００円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	４００円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

［展示室のみ］

大　人	３００円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	２００円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

（８）平成 23 年３月 19 日　観覧料改定

［全 館］

大　人	８００円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	５００円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

［展示室のみ］

大　人	４００円
高大生（大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者）	２００円
小　人（小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者）	無　料

利　用　案　内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)
休館日	(1) 月　曜　日（祝日の場合は、直後の休日でない日）
	(2) 毎月第3金曜日（祝日の場合は、第4金曜日）
	(3) 年末年始（12月29日から1月3日まで）

観覧料	区分	当日		定期観覧券（1年間有効）	
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ
	大人	800円	400円	3,200円	1,600円
	高大生	500円	200円	2,000円	800円
	小人(中学生以下)	無料			
	※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引				

プラネタリウム開演時間	投影開始時間 (投影時間約50分)	9:50	11:10	12:30	13:50	15:10	16:30
	平日	＊ 学習投影	＊ 学習投影 一般投影	＊ 学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影
	冬・春休み 土曜・日曜・祝日 4/2～4/5･7/23～8/30 12/25～12/27・3/26～3/29	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリーアワー	一般投影	一般投影

＊平日9:50、11:10、12:30の回につきましては、時間により投影内容が変更となります。　定員　350人

実演実験演出時間	実演会場		名称	平日	土曜・日曜・祝日及び8/12～8/16
	理工館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30
	理工館	4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30
	理工館	3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30
	理工館	3階	都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00
	天文館	4階	サイエンスステージ	11:00 12:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00
	生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00

○名古屋市科学館条例

昭和 37 年 8 月 10 日

条例第 27 号

(設置)

第 1 条　博物館法(昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。)第 18 条の規定に基づき、近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称　名古屋市科学館

位置　名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条　名古屋市科学館(以下「科学館」という。)は、その目的達成のために次の事業を行う。

(1)　科学に関する資料及び装置の展示

(2)　プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導

(3)　科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催

(4)　科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行

(5)　科学知識の普及啓発に必要な他機関との協力

(6)　その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条　科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条　削除

(観覧料の減免)

第 5 条　委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

(1)　市内に住所を有する 65 歳以上の者　当該観覧料の 3 分の 2 の額(100 円未満の端数は、切り上げる。)

(2)　身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者　当該観覧料の全額

2　前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条　既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条　次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1)　でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者

(2)　管理上必要な指示に従わない者

(3)　その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条　建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条　科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条　法第 20 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2　協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15 人以内とする。
3　委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。
4　委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
5　委員は、再任されることができる。
6　委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。
(観覧時間等)
第 11 条　科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。
附　則　抄
1　この条例は、公布の日から施行する。
2　科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。
附　則(昭和 39 年条例第 64 号)
この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。
附　則(昭和 41 年条例第 19 号)
この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分の公告があった日の翌日から施行する。
附　則(昭和 51 年条例第 17 号)
この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(昭和 55 年条例第 10 号)
この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(昭和 59 年条例第 26 号)
この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(平成元年条例第 4 号)
この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。
附　則(平成 6 年条例第 7 号)
この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(平成 6 年条例第 17 号)
この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(平成 17 年条例第 112 号)
この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(平成 22 年条例第 5 号)
1　この条例の施行期日は、規則で定める。
(平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行)
2　この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。
附　則(平成 24 年条例第 8 号)
この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1回券(1人につき)			定期観覧券 (1年券)
	個人	団体		
		30人以上100人未満	100人以上	
一般	800円 (400円)	720円 (360円)	640円 (320円)	3,200円 (1,600円)
大学生又は高校生	500円 (200円)	450円 (180円)	400円 (160円)	2,000円 (800円)

備考

1　一般とは、15歳以上の者(「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。

2　大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。

3　小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。

4　(　)内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。

5　特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める1回券の金額を超え当該金額に3を乗じて得た額までの金額とすることができる。

6　特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

○名古屋市科学館条例施行規則

昭和55年3月28日

教育委員会規則第3号

(趣旨)

第1条　名古屋市科学館条例(昭和37年名古屋市条例第27号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第2条　名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2　教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条　科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1)　月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2)　毎月第3金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第4金曜日)

(3)　12月29日から1月3日まで

2　委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第4条　条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第5条　観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。

(観覧券の種類)

第6条　観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2　条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3　観覧券の様式は、別に定める。

第7条　削除

(観覧券の改札)

第8条　観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。

(観覧料の減免)

第9条　条例第5条第1項第2号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者とする。

(1)　身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳

(2)　戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳

(3)　原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条に規定する被爆者健康手帳

(4)　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

(5)　市長の発行する愛護手帳(これに類する療育手帳等を含む。)

2　条例第5条第2項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1)　市内の小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が入館する場合　観覧料の全額

(2)　市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合　観覧料の5割相当額

(3)　児童福祉法(昭和22年法律第164号)に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合　観覧料の全額

(4)　前項に定める者に同行する介護者(前項に定める者1人につき2人以内に限る。)が入館する場合　観覧料の全額

(5)　市内に住所を有する65歳以上の者(以下「市内の高齢者」という。)が定期観覧券により入館する場合　観覧料の額に3分の2を乗じて得た額(100円未満の端数は、切り上げる。)

(6)　市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合　次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)
備考　(　)内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7)　その他委員会が特別の事由があると認める場合　その都度委員会が定める額

(観覧料の減免申請手続)

第 10 条　前条第 2 項(第 4 号から第 6 号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第 7 号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第 10 条の 2　委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2　前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第 11 条　委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第 12 条　委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和 27 年法律第 239 号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2　前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第 12 条の 2　条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1)　科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2)　その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条　名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2　会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3　会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条　協議会の会議は、会長が招集する。

2　協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3　定例会は、毎年 2 回招集する。

4　臨時会は、必要に応じて招集する。
5　協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
6　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(説明又は資料の請求等)
第 15 条　会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。
2　関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。
(協議会の庶務)
第 16 条　協議会の庶務は、科学館において行う。
(委任)
第 17 条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。
附　則
1　この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。
2　この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和 37 年名古屋市規則第 70 号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。
3　この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
4　この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。
附　則(昭和 56 年教育委員会規則第 7 号)
この規則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(昭和 59 年教育委員会規則第 5 号)
1　この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。
2　この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定により調製されている科学館観覧券は、この規則による改正後の市立名古屋科学館条例施行規則(以下「改正後規則」という。)の規定にかかわらず、残量のある限り、改正後規則の様式の要件を満たすように修正して使用することができる。
附　則(昭和 63 年教育委員会規則第 14 号)
この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。
附　則(平成元年教育委員会規則第 9 号)
1　この規則は、平成元年 4 月 29 日から施行する。
2　この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則による改正後の名古屋市科学館

条例施行規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
3　教育長専決規則(昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号)の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略
附　則(平成4年教育委員会規則第2号)
この規則は、平成4年4月1日から施行する。
附　則(平成5年教育委員会規則第15号)
1　この規則は、平成5年6月1日から施行する。
2　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の名古屋市立養護学校学則等の規定に基づいて作成されている申請書等は、この規則による改正後の名古屋市立養護学校学則等の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。
附　則(平成6年教育委員会規則第1号)抄
1　この規則は、平成6年4月1日から施行する。
2　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
4　この規則の施行の際現に第1条及び第2条の規定による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、これらの規定による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。
附　則(平成6年教育委員会規則第8号)
この規則は、平成6年4月1日から施行する。
附　則(平成6年教育委員会規則第17号)抄
1　この規則は、平成6年4月1日から施行する。
附　則(平成7年教育委員会規則第13号)
この規則は、平成7年12月1日から施行する。
附　則(平成13年教育委員会規則第4号)
1　この規則は、平成13年4月1日から施行する。
2　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
3　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。
4　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。
附　則(平成13年教育委員会規則第5号)

1　この規則は、公布の日から施行する。

2　この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて定められている観覧券等の様式は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて定められたものとみなす。

附　則(平成 15 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 16 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 17 年教育委員会規則第 26 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則(平成 22 年教育委員会規則第 12 号)

この規則は、名古屋市科学館条例の一部を改正する条例(平成 22 年名古屋市条例第 5 号)の施行の日から施行する。

(施行の日＝平成 23 年 3 月 19 日)

附　則(平成 23 年教育委員会規則第 31 号)

この規則は、平成 24 年 1 月 21 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館条例施行規則

昭和 55 年 3 月 28 日　教育委員会規則第 3 号

(平成 24 年 1 月 21 日施行)

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年　　月　　日 (あて先)名古屋市教育委員会 (申請者) 住　所(団体は主な事務所の所在地及び名称) 氏　名(団体は代表者氏名) 電話　自宅(団体は主な事務所) 勤務先 次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。	
観覧の種別	
観覧年月日	年　　月　　日
観覧の人員	
引率者の職氏名	
観覧の目的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
その他	

(備考)　用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

位　置　略　図

交通アクセス	●地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 5番出口から南へ徒歩5分 ●市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分 ●名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

（平成25年度）

発　　行　名古屋市科学館

発行年月日　平成25年8月末日

発行部数　500部

年刊／無料／特定

印　刷　所　大同印刷株式会社

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

名古屋市科学館
〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号 TEL (052)201-4486
FAX (052)203-0788
団体予約専用 TEL (052)231-9771
テレホンサービス TEL (052)201-4494
インターネットホームページ http://www.ncsm.city.nagoya.jp/